

既存 CALL 教材のモニター調査とその分析

-スペイン語・中国語・ドイツ語・フランス語・ポルトガル語-

結城 健太郎

東京外国語大学博士後期課程

川口 裕司

東京外国語大学外国語学部教授

1. はじめに

新たな外国語学習教材を開発するにあたり、学習者のニーズ等を把握するために既存の教材群がどのようなものかを検証しておくことは重要である。コンピュータやネットワークなどの設備を利用し、マルチメディアのコンテンツを含む外国語教材は既に国内外を問わず数多く市販されている。そうした教材をさらに先端化、効率化させた教材開発を目指す本研究では、開発の1つの指針を得るべく、そうした市販教材のモニター調査を実施した。

本モニター調査は、もともと「外国語自習システム開発のための基礎的研究」という表題で、東京外国語大学外国語学部の平成13年度教育研究特別経費の補助を受けて始められた。ところが実際には研究特別経費の執行が年度末にあわただしく決定されたこともあり、実質的なモニター作業および成果の取りまとめは平成14年度にずれ込むこととなった。一方、平成14年度には川口を代表者とする科学研究費補助金による研究「インターネット技術を活用したマルチリンガル言語運用教育システムと教育手法の研究」が採択されたため、本モニター調査の分析と考察は本研究において実施することとした。

後述するように本モニター調査では、多数の大学院生・学部生・研究生にモニターとして協力していただいた。以下に協力者のお名前を掲載するとともに、この場をお借りして協力者に感謝の意を表したい。

結城 健太郎	(東京外国語大学大学院博士前期課程・スペイン語)
三浦 麻衣子	(東京外国語大学大学院博士前期課程・スペイン語)
田中 優子	(東京外国語大学外国語学部・スペイン語)
志波 彩子	(東京外国語大学外国語学部研究生・スペイン語)
井田 みずほ	(東京外国語大学大学院博士前期課程・中国語)
高橋 美季	(東京大学大学院博士前期課程・中国語)
四方 芙紗江	(東京外国語大学外国語学部・中国語)
カン ミンギョン	(東京外国語大学大学院博士後期課程・ドイツ語)

時田 伊津子	(東京外国語大学大学院博士後期課程・ドイツ語)
阿部 一哉	(東京外国語大学大学院博士後期課程・ドイツ語)
斉藤 理恵	(東京外国語大学大学院博士前期課程・ドイツ語)
黒木 知恵	(東京外国語大学大学院博士前期課程・ドイツ語)
中田 俊介	(東京外国語大学大学院博士前期課程・フランス語)
倉嶋 典子	(東京外国語大学大学院博士前期課程・フランス語)
桑野 直子	(東京外国語大学大学院博士前期課程・フランス語)
横山 大	(東京外国語大学外国語学部・フランス語)
熊田 知子	(東京外国語大学外国語学部・フランス語)
内河 知子	(東京外国語大学外国語学部・ポルトガル語)

身分はいずれもモニター実施当時のものである。

本稿では、最初に本調査のより具体的な調査目的を明らかにし、調査方法を示す。調査では市販教材について、まずその概要、場面設定、発音教材、文法教材といった側面から検証を行い、次にそれぞれの点に関する分析作業を行う。最後に検証作業の結論として、より有用な外国語教材、特にコンピュータを利用したマルチメディア教材はどのようなものであるべきかについて触れる。本調査は次のような点で意義があると言える。本調査の目的を達成するためには複数の言語の、それぞれ複数の教材を横断的に観察することが必要である。そしてそれぞれの教材の調査を行うモニターが、その目標言語に通じていること、さらにその学習経験を持っていることが必要であると思われる。本調査では 5 つの言語の合計 28 個の教材について、それぞれの言語をある程度習得したモニターが調査することができた。

2. 調査目的

本調査は既存の市販の語学教材について具体的に次の点を記述・検証することを目標としている。教材の利用しやすさ、教材の会話部分などでの場面設定、発音教材、語彙教材、文法教材についてである。さらにこれらについてモニターである学習者が評価している点、評価していない点を明らかにし、それらを新たな教材開発に生かす方法を探る。

3. 調査方法

ここでは調査の方法について扱う。最初に検証教材の選択方法とリスト、次にモニターの選択基準、最後にアンケート調査の概要について述べる。

3.1. 検証教材

本調査ではまずスペイン語、中国語、ドイツ語、フランス語、ポルトガル語の 5 つの言語

について、それぞれの言語の教育に携わる本学の教員が市販のマルチメディア教材を選んだ。初級学習者用の教材を中心に選択したが、これに加えて中国語については中級学習者用のもの、フランス語については中級・上級学習者用の教材も選択した。なお、全ての教材のリストは資料 1 を参照して欲しい。また、それぞれの教材の具体的な内容やモニターによる総合的な評価については資料 2 をご覧頂きたい。

3.2. モニター

各教材をそれぞれ一人のモニターに与え、40 時間程度使用させた。モニターは次のような基準で選択された。各教材の目標言語を日本で 4 年以上学習するか、目標言語が話されている地域にてその目標言語を 1 年以上学んだことがあるかどうかである。これにより、それぞれの教材をその目標言語の学習経験がありかつその言語を習得済みのモニターが検証することになる。

3.3. アンケート

各モニターは与えられた教材を 40 時間程度使用した後、アンケートに答えた。このアンケートは選択式と記述式の問いを含むが、次のような構成になっている。1. 使用ソフトの概要(パッケージ情報を抽出)、2. 概評(教材全体の評価を選択式・記述式で回答)、3. 分析(場面設定・発音・文法事項の記述とモニターの見解について記述式で回答)、4. 結論(マルチメディア教材の意義などについて記述式で回答)である。アンケートの具体的な質問内容については資料 4 をご覧いただきたい。

4. 検証

このセクションではモニターによる各教材の調査をもとに既存の教材の実態の分析と発展の可能性を探る。各教材の概況、場面設定、発音、文法、語彙、練習問題についてこれを行う。

4.1. 概況

最初に、各教材の概況に注目したい。4.1.1 から 4.1.3, 4.1.5 と 4.1.6 については質問票中の「1. 使用ソフト概要」に対するモニターの回答がもとになっている。4.1.4.については質問票中の「2. 概評」中の「3. 教材の利用しやすさについて」に対するモニターの回答がもとになっている。またとりあげられる表については本稿の最後にある資料 3 をご覧いただきたい。

4.1.1. 仕様

調査対象となった全ての教材は標準的なコンピュータの利用形態に適合するスタイルとなっている。全ての教材はメディアに CD-ROM を使用し、広く使われている基本ソフトである Windows を搭載したコンピュータにインストールした上で学習する。これは現在のコンピュータ・ユーザの最大公約数的な入手形態、利用形態を反映させたものといえ、広く使われることを目指す教材なら満たすべき要件であると言えよう。多くのパソコンには CD-ROM ドライブが搭載されており Windows 系の基本ソフトが搭載されているからである。ただし、少数とはいえ Mac 系の基本ソフトを無視してよいわけではなく、この点はモニターによって指摘されてもいる。

しかしながら、使用にあたり問題が生じたモニターもいた。コンピュータに不具合が発生したり、他のソフトウェアの使用に悪影響が出たりしたと報告したモニターがいる。あるモニターは特殊な文字を入力するための基本ソフトの設定変更の原因がある可能性を指摘しているが、これらの問題の原因の全てが教材のインストールにあるのかどうかは不明である。しかし、コンピュータ上でできるだけ不具合が発生しない、もしくは発生しても容易に修正できる教材を作成することは重要である。一部の教材はインストール作業が不要であり、それに伴いがちな基本ソフトの設定変更を行わないですむ。こうした形態をとる可能性も視野にいれるべきであろう。

4.1.2. 付属品とネットワーク

付属品やネットワークについては次のような特徴を持つ。全ての教材はスピーカもしくはヘッドフォンを必要としている。一部の教材には音声の入出力が可能なヘッドセットが添付されている。また多くの教材には印刷物の取り扱い説明書が付属しており、これを参照しつつ最初の設定作業やその後の利用を行う仕組みになっている。さらに一部の教材ではインターネットを経由した教材の補充やテストを行う機能を持っており、そのためにインターネットに接続している環境を必要とする。

音声の入出力機器についてはそれらがマルチメディア教材にとって重要なものである一方で、全てのユーザがそれについて理想的な環境を整えることができない点も認めなければならない。サウンドボードとスピーカは多くのコンピュータが搭載しているが、それをいつでもオンできるわけではない。静粛が必要な場所であったり、他の人が側にいたりする場合はオフにしなければならない場合も多い。さらにマイクロフォンを使用して音を入力する場合も同様である。これは主に教材を使用する環境の問題であるが、教材側でできることをあげるとすれば、一部の教材が行っているように音声の入出力が可能なヘッドセットを付属させることや、学習者側が何かを発音しなくても先に進めるオプションを設けることが考えられる。取扱説明書については、それが学習者の母語でない場合に問題が生

じる可能性がある。海外製の教材には英語の取扱説明書が付属する場合が多く、今回の調査のモニターは全て英語をある程度理解するため、取り扱い説明書が理解できないため教材の利用ができないという場合はなかった。しかしながら、ユーザが理解できる言語で取扱説明書、また教材中のヘルプを準備することは必要であると思われる。

ネットワークについても、全てのユーザがインターネットに簡単に接続できる環境にあるわけではないという点を明記しておく必要がある。一方で、完全にスタンドアローンの教材ではユーザの必要にあわせた追加教材を準備することや、プログラムの問題を修正するためのモジュールを用意することは難しい。多くの教材は付加的な教材や機能を利用するためにのみインターネットに接続し、この点を考慮していると言える。

4.1.3. 入手方法

入手形態については今回の調査では 1 つの教材を除き全ての教材がパッケージ販売されており、書店を通して、もしくは出版社から直接入手する仕組みになっている。これらは学習者や教育機関の一般的な教材入手経路であり、様々な付属品も同梱することができる。しかしながら、パッケージ化や販路の確保にはコストも伴うことも認める必要がある。こうしたコストを避けたい場合はインターネットを介してのダウンロード販売などの可能性も考えられる。

4.1.4. ユーザビリティ

教材の利用しやすさについて、モニターが最も強く不満を感じていた分野は、表 3 の「3. 画像は見やすかった」と「4. 画面は見やすい配置だった」の結果からもわかるとおり、画像(映像)の見やすさと画面の配置の見やすさである。画像や映像の質はコンピュータの性能とメディアの容量とに関係する。教材制作者はメディアの容量の範囲内で、ユーザが使用しているであろうコンピュータの性能を予想しつつマルチメディアの質と量を決定する。しかしながらコンピュータの性能については一般に広く普及しているコンピュータのうち最低のものにあわせて質の低いマルチメディアを準備しなければならない。そのためにあるユーザは画像や映像の質に不満をもったものと思われる。

画面の配置の見やすさはディスプレイの解像度と関係し、画像や映像の質と同様に、最も解像度が低いディスプレイにあわせて作成されていると思われる。そのために同じような不満が生じたものと思われる。使用するハードウェアの差はおそらくどの時点でも存在するものであり、こうした不満が生じる可能性はいつでもある。しかし、教材に表示モードを選ぶ機能があたり、インターネットを介してなどの追加機能入手の手段があたりすれば不満を減らすことは可能であろう。

4.2. 場面

多くの教材では会話を例に示しつつ目標言語を学ぶ形式をとっており、スクリプトに加えて音声、映像などが積極的に使われている。しかしこの部分ではその場面設定、特にどのような場面設定がどのような配列で行われているかに注目する。基本的な場面設定は多くの教材で共通しており、モニターの多くは遭遇頻度が高い場面を設定している点を評価している。目標言語が話されている地域で日常生活を行う際に必要になる場面を網羅した教材や、旅行で訪れた際に必要になる場面を扱う教材に積極的な評価が与えられた。例えば飲食店、交通機関、宿泊施設、病院、金融機関などである。このような場面設定の例として表 4 より、「1. 基本的な日常の場面設定がすべてそろっている」の評価が高い教材の設定を示す。

6. ハイパー中国語 実用漢語課本(東方書店+クリエイト大阪)	
場面設定	挨拶 (1, 2, 3 課), 友人紹介 (4), 先生宅に遊びに行く (8 課), 自己紹介 (9), 友人を訪ねる (10), 辞書を借りる (11), 友人紹介 (13), 家族の仕事 (14), クラス紹介 (15) 探し物 (16), 今日の予定 (17), 丁雲の 1 日 (18), コーヒー屋で (19), 誕生会 (20, 21), 新居案内 (22), 電話で (23), 寮を訪ねる (24), 川辺で (25), 将来の夢を語る (26), 中国大使館で (27), サッカーの試合 (28), 飛行場で (29), 見送り (30), 飛行機の中で (31), 身体検査 (32), 天気 (33) 郵便を出す (34), 学習状況 (35), 茶器を買う (36), 中山服を買う (37), バスに乗る (38), 手紙 (39), 運動会 (40) 観光案内 (41), 記念写真を撮る (42), 外食 (43), 再会 (44), パンダ見学 (45), 見舞い (46), 魯迅の故居を見学する (47), 春節の支度 (48), 観劇 (49), 書画を見る (50)
モニターのコメント	日常生活に欠かせない表現をカバー出来るような設定である。最低限必要な表現に加え、自分の状況説明などをする事が出来るようになるような設定となっている。

11. Deutsch Eins & Zwei (MultiLingua by USM)	
場面設定	Deutsch Eins T1:到着(空港で, タクシーで, ホテルで) T2:家で, ホテルで T3:食事(コンサートの後で, フベルツの家で) T4:買い物(車の中で, プティックで) T5:身体と健康(ベッドで, 電話で, 受付で, 診察室で, 階段室で, 家で) T6:住居(家探し, 不動産で, 友達との相談, 家主のところで) T7:日常生活(朝食のときに, チーフのところで, 妹と一緒に, 家で) T8:旅行(見送り, 空港に向かう電車の中で, 電車の車掌, 空港の窓口で, 飛行機の中で)

	Deutsch Zwei T1: 共同生活(入居, 着替え, 引越し, 退去) T2: 余暇(窓際で, 電話で) T3: 証明書戦争(交通カード販売窓口で, 大学の受付で, バスの中で) T4: バイト探し(問題発生, 公共職業安定所で, 電話ボックスの中で, 月曜日 18 時) T5: 社会と政治(家族について, 政治について, 環境について, 外国人について) T6: 現代社会(29 個のプログラム, 未来のためのヒント)
モニターのコメント	学生や若者の日常生活の基本的なシチュエーションが, バランスよく捉えられている。特に, トラブルや意見の食い違いなどが生じる状況も取り上げているところは評価すべき点である。しかし, 内容としてそれほど情報価値があるとは思えない。初級段階では仕方ないかもしれないが, レベルを上げていくにつれて, 知的好奇心を満足させる忠実した内容の読み物なども挿入したほうが良いと思う。

21. Learn FRENCH Now! (Transparent Language, Inc.)	
場面設定	Fundamental French フランス人アンヌ, ナタリー, マルク (アンヌの同僚), モニク (マルクの隣人) らによる会話。全 1018 文。 1-2 カフェで (友人と話す, 人と知り合う), 3. 散歩 (隣人と出会う), 4. 電話で, 5. 仕事場で, 6-7. 知人宅で (夕食), 8. 旅の計画を立てる, 9. ピクニック, 10. 友人宅で (夕食会) Survival Phrases for French 各場面についてのフランス語による事情説明ーフレーズ練習ー会話練習の順。会話を行う人物は特に描かれない。全 987 文。 1. 出会いと挨拶, 2. タクシーに乗る, 3. ホテルで部屋を取る, 4. 銀行で両替をする, 5. 切符 (飛行機・電車・バス) を買う, 6. 道・時間を尋ねる, 7. 知り合いになる, 8. レストランで注文する, 8. 丁寧な表現 (知らない人に尋ねる・頼みごとをする), 9. 緊急事態 (救急車を呼ぶー救命士と話す, パンクした時, 落し物で交番に行く) A French Surprise Birthday Party フランス人ジュリエット・ペネックが母の誕生日に両親を訪ねる。全 193 文。 1. 両親宅で (朝食), 2. 台所で, 3, 5. ブティックで, 4, 6. 庭で (夕食会の準備), 7. ワイン倉で, 8. 庭で (夕食会) Conversation in French エクス-アン-プロバンスのベルギー人医学留学生エリザベト・ゴーチエと友人達との会話。全 269 文。 1. 知り合いになる, 2. 友人宅で, 3. レストランで, 4. 友人と旅行のプランを練る, 5. 旅行代理店で, 6. ブティックで

	以上４つのタイトルはマスタープログラム・ディスクに含まれ、以下７タイトルはアド・オン用ディスク 7 枚の内容（個別インストール要）。 Getting Acquainted in French 上の Conversation in French に登場したエリザベト・ゴーチエが家族・友人や大学の学生にインタビューをする。人々の受け答えは極めて自然で、ほぼ authentic である。全 179 文。 インタビューの質問事項：名前・名前のスペル・出身・家族・子供の有無・どこに住んでいるか・それはどんなところか・（大学で）何を勉強しているか・将来何になりたいか・朝/昼/夕食に何を食べるか（作るか）・趣味・好きなスポーツ・旅行の行き先・バカンスの過ごし方・よく用いる交通手段。各インタビューの後に「あなたも言ってみましょう」の問いかけ。 Getting there: A French Roadtrip スウェーデン人アニカがフランス人の友人ブリジットの一家とアンボワーズに赴く設定。アニカは完璧なフランス語を話す。全 203 文。 1.家で（朝食）、2,4.電話ボックスで、3,5.家で、6,8.自動車の中で、7.休息エリアで（ガソリンスタンドで、喫茶店で、パンクの修理）、9. アンボワーズ到着 A Weekend Excursion in France 上の Getting there の続編。アニカと友人達との会話。全 290 文。 1,4.ユースホステルの受付で2,3.宿泊する部屋で友人と 5,6. 2つのホテルで（空き部屋を探す）7.ユースホステルに戻る 8.通りで友人と 9,10.城で案内人と You're a Cabbage!and other French Idioms フランス語のイディオムを 50 収録。1 つずつフランス語の解説があり、5 つ毎にそれらを全て含んだダイアログが挿入される。最後にフランス語のことわざが 10、早口言葉が 5 収録されている。全 290 文。 Zut! Fun French Slang フランス語の俗語表現を 50 収録。1 つずつフランス語の解説があり、5 つ毎にそれらを全て含んだダイアログが挿入される。全 239 文。 Anything for a Million 遺産相続を巡る家族コメディ。登場人物は 8 人。速度はテレビ番組同様のスピード。全 403 文。 A Mother's Day to Forget 母の日を忘れた夫婦とその母親達とのコメディ。登場人物は 6 人。速度はテレビ番組同様のスピード。妻の母はプロヴァンス訛りが顕著。全 352 文。
モニターの	マスタープログラムの 4 タイトルはいずれも会話の実践に配慮した場面設定となっている。

コメント	しかしアドオン・タイトルのうちスウェーデン人アニカを巡る 2 つ (Getting there: A French Roadtrip・A Weekend Excursion in France) はマスタープログラムの一部と場面設定が重複しており、工夫が足りない感は否めない。一方中級・上級の学習者にとっては、用いられるフランス語が教材用のスローな発話 (Fundamental French etc.) , やや自然な発話 (Conversation in French) , 極めて自然な発話 (Getting Acquainted in French) , テレビ番組レベルの発話 (Anything for a Million, A Mother's Day to Forget) などさまざまなジャンル・レベルが準備されており段階的な学習が可能。またコメディーでの言い回しの妙についての解説や南仏特有の発音が聞ける点、俗語表現に 1 タイトルを充てている点などは社会言語学的観点からも評価できる。
------	--

それぞれの場面が独立して取り上げられる場合もあれば、一つのストーリーの中にそれぞれの場面が含まれてつながりを持っている場合もある。しかし、多くの教材は単純な場面設定から次第に複雑なものに進む傾向がある。上述の例からもわかる通り、最初は自己紹介のような単純な情報の交換からはじまり、次第に買い物や病院の場面のようには他の人と一緒に行動したり、他の人に行動を促したりする必要がある場面に進む。そして最終的には社会や将来のことなど比較的抽象的な話題を扱う場面になる。次の教材の配列とそのモニターのコメントはこうした場面設定の特徴をよく示している。

3. Talk to Me Spanish (Auralog)	
場面設定	L1.¿Como Describirse? あいさつ、基本的な状態に関する質問に答える(例:おいくつですか?), 家族に関わる質問に答える(例:子供はいますか?), 色や大きさといった基本的な形容詞を使った質問に答える(例:あなたは背が高いですか?), 服装に関わる質問に答える(例:何を着ていますか?) L2.Saber Contar 家の中に関わる質問に答える(例:(家の中の)どこにいるの?), 数字に関わる表現(例:1~15 までの数字, 足し算, 大きな数字, 引き算), 文字と綴りに関わる表現(例:アルファベット), 季節と年中行事, 月, 週, 時間に関わる表現(例:夏, 誕生日, 毎週土曜日に映画館に行くつもりです) L3.Nombres y adjetivos 文具に関する表現(例:定規を持っていますか?), 装身具や乗り物, 動物に関わる表現(例:家で猫を飼っていますか?), 感情や状態, 天気に関わる形容表現(例:あなたは幸せですか?) L4.Perdido en Madrid 移動や交通に関わる表現(例:どちらの通りをお探しですか?) L5.Ir a la compra 買い物に関わる表現(例:何を求めますか?, 他にはなにか?) L6.En el mar バカンスにおける表現(例:ねえ, お父さん, 今海岸に行ってもいい? まずは泳ぐつもりだよ) L7.Asistencia medicina 病院における表現(例:中毒の可能性があります。錠剤を忘れずにお飲みください) L8.Enviar una carta 手紙に関係する表現(例:十分な数の封筒を持っていますか?)

モニターのコメント	まず、各章の分析をしてみたいと思う。L1 については何かの場面について扱うというよりも、基本的なあいさつと自分と自分の家族に関する質問に答えること、簡単な状態の描写に関する質問に答えることに重点が置かれている。これらはネイティブスピーカーと最初にコミュニケーションをする時に役立つ表現であろう。 L2 については数字や時間の表現を導入することで実際にスペイン語の環境で様々な情報を理解できるようになることを想定しており、最低限の意思疎通を可能にしている。また助動詞(例:～できる)などを導入してバリエーションに富む表現を可能にしている。 L3 は身の回りの物の語彙力をまず高め、形容や評価をする形容詞を導入している。これにより使用語彙を増やすことが出来る。 L4 については移動や交通に関わる表現が主体になっている。地図に関わる表現や、道を尋ねる時に生じがちな表現が多く出ている。これによりスペイン語圏で一人で活動する力が強くなる。また“心配しないで”や“ええと・・・”といったこの分野に限らない表現も取り上げられている。 L5 は買い物に関わる表現が中心になっているが食べ物に関わる名詞も多数導入されている。また“カートを持っていこうか?”“まだ必要なものはあるかしら?”といった共同作業を進める上での表現も導入されている。 L6 はバカンスに出かけるという設定でそれに関わる表現や語彙の導入が中心になっているが、“なんで?”, “どうしたの?”といった他の人と一緒に行動することを前提にした表現を多く導入している。 L7 は病院や緊急事態に関わる表現や語彙の導入が中心になっているが、“中毒かもしれません”や“何か特別なものを食べましたか?”といった可能性や不定のものについて表現することを可能にしている。また“～だと思う”といった自分の考えを表す方法も学ぶ。 L8 は手紙を書いたり郵便を出したりする時に必要な語彙を取り上げている。ただし手紙の書き方については取り上げていない。 これらの分析から次のようなことが言える。各章の内容は学習者がスペイン語圏でより能動的な活動が出来るように配列されているということである。簡単な質問に対応できる(L1)→相手の述べる情報を理解(L2)→一人での活動ができる(L4)→共同作業ができるレベルにコミュニケーションができる(L5)→円滑なコミュニケーションを楽しめる(L6)→自分の考えや可能性などを伝えることが出来る
------------------	--

	(L7)という具合にである。この配列は实际的である。また移動と交通機関、買い物、病院と緊急事態と最低限必要な場面は網羅されていると考えられる。
--	---

これらの他に考慮できる点として、次のようなものがあげられる。学習者のレベルに合わせた場面設定の必要性を指摘しているモニターがいた。その言語が話されている地域に関する情報や、専門的な用語を使う場面が出てくる場合、比較的高い語学のレベルが必要とされるということが指摘されていた。そして、学習者に必要だけでなく、学習者に興味を持たせることができるかという点も指摘されている。同じ登場人物が出てきて展開が進むことで登場人物に感情移入できる設定であることが評価されている教材があった。しかし、その一方で同じ登場人物が出てくるために、話し言葉のバリエーションが広がらないという指摘もある。

4.3. 発音

発音はマルチメディア教材の利点を生かす格好の分野である。ネイティブスピーカーの発音を実際に聞き、その波形を観察できる点については多くのモニターが評価している。表4の「4. 発音に重点がおかれた教材である」で高い評価が与えられた教材の発音教材に関する概要と、それに対するモニターのコメントを下に示す。なお、この教材は発音に特化した教材である。

13. Einblicke 11: Sprachtrainer (Goethe Institut & DKF Multimedia GMBH)	
発音	…ほとんどの分野が十分に練習できます。初心者も練習できるような母音、子音から始まり、語単位・文単位の発音とアクセント、文メロディ、リズムとポーズ、最後にはナチュラルスピードで話されたビデオを用いた会話練習まで網羅されています。
コメント	間投詞については、シリーズのビデオで扱われたものしか練習できないようです。間投詞は、単独で習得するのはかなり難しいので、この CD-ROM のように具体的な状況をビデオ等で提示できる教材で学習できるといいと思います。

この教材のように文単位での発音・音調、個々の語の発音両方について練習できるものが多いが、会話中心の教材では文単位での発音は聞けても一つ一つの語の発音を聞く機会が少ない点に不満を持つモニターもいた。一部の教材はその速さを遅くする機能も搭載されているが、その音質面での限界を指摘しつつもその有用性を指摘するモニターがいた。

一部の教材では学習者が発音し、それを記録しネイティブスピーカーの発音と聞き比べ、波形やピッチのカーブを比較したり、コンピュータのプログラムにより評価したりすることができるものもあった。これもモニターにより高く評価されている場合が多い。しかしながらその評価の精度に問題があることを指摘したモニターもいた。以下の教材のモニターはその例である。

4. Tell me More -The Complete Method (Auralog)	
発音	発音練習の画面では発音文を選択でき、発音練習をすることができる。発音文を特に選択せずに、先頭の文から順番に発音練習をしていくことも可能。画面上段に文が現れ、手本の発音がされそのウェーブが現れる。発音すると、学習者のウェーブがお手本の下に現れる。発音は6段階で評価される。できるまで何度も同じ文を発話し練習することができる。また、単語辞書の画面から語彙集の単語を選択し、その単語の発音練習をすることもできる。
コメント	発音に関しては一見かなり徹底していそうだが、ストレスの強弱やイントネーションは認識しても、lとrの違いやc(z)とsの違いを認識することはできない。アクセントとイントネーションを真似てまったく違う音でぐちゃぐちゃに発音しても、合格点が出たりする。この練習で発音矯正ができるとは思えない。スペイン語のリズムやイントネーションを身につけることはできるかもしれないが。

4.4. 文法

文法教材はルールの提示とその練習によって構成される場合が多いため、前の二つのものほどマルチメディア教材に適しているとは言いがたい分野かもしれない。しかし多くの教材では文法事項が何らかの形で取り上げられている。調査対象の既存の教材について、文法事項がよく整理されているか、またその配列はどのようなものになっているかを例をあげつつ考察する。文法の練習問題については4.6で取り上げる。

文法事項が整理されているとは、学習者が必要としている文法事項が網羅されており、それらが学習者にとってわかりやすく範疇化されていることを指す。最初に表4の「4. 文法事項がよく整理されている」中で高い評価が与えられている教材を例としてあげる。

21. Learn FRENCH Now! (Transparent Language, Inc.)	
文法事項	文法は進行するテキストの各語・句・文についてリアルタイムで該当項目が表示され、さらに参照リンクをクリックすることでその詳細を見ることができる。 参照リンク先の全内容：アルファベットと発音（音と文字の対応）、名詞（性・数・定/不定冠詞）、代名詞（人称代名詞、指示代名詞、人称代名詞強勢形、不定代名詞、疑問代名詞、所有代名詞、代名動詞における代名詞、関係代名詞、中性代名詞）、部分冠詞、形容詞、副詞、比較、前置詞、接続詞、数、否定、疑問、命令、構文、動詞（現在、半過去、過去分詞、現在分詞、助動詞、複合過去、大過去、未来、条件法現在、前未来、条件法過去、接続法現在、態）。
コメント	文法項目は各語・句・文について該当項目が表示されるので、瞬時に疑問点を確認することができる。従って初級文法を一通り概観し、その定着を図る学習者には便利である。しかし全くの初学者には逐一クリックベースで基礎を身に付けていくのは骨が折れる。マスタープログラム中の1タイトル Survival Phrases for French のテキストは文法を段階的に学ぶステッ

	プが取られているが、進み方が早くゼロからの基礎文法の学習はやはり困難である。テキストに文法の段階的学習を内在化する工夫が望まれる。
--	---

24. Tell me More, French 1(Auralog)	
文法事項	“oui”, “non”と “si” , 母音のアクセント, 音[s], 特別な子音, “et”か “est”か?, 同型異義語, 品質形容詞の位置, 色形容詞, 数, 時間の表し方, 定冠詞, 不定冠詞, アポストロフ, 所有形容詞, 疑問形容詞, 前置詞 “dans”と”sur”, 場所を表す前置詞, 副詞の位置, 疑問文の中の副詞, 副詞 “comme”, 指示代名詞, 指示代名詞 “ça”, 人称代名詞の強勢形, 人称代名詞 (直接目的補語), 関係代名詞 “qui”, 不定代名詞 “quelqu’un”, 動詞 “être”の直説法現在, 動詞 “avoir”の直説法現在, 非人称の “on”, 動詞 “lire”と “écrire”の直説法現在, 動詞 “-eler”と “-eter”の直説法現在, 動詞 “aller”の直説法現在, 代名動詞 “se trouver”と “se prendre”の直説法現在, 様態動詞の直説法現在, “travailler”と “essayer”の直説法現在, 複合過去形の助動詞 “avoir”と “être”, “voir”の直説法単純未来, “être”の直説法半過去, 命令法, 否定の命令法, 条件法現在, 否定, 直接話法, 間接話法, “être en train de”, 近接過去 “venir de”, “Qu’est-ce que c’est ?”
コメント	文法事項は「参照事項」(Reference Works)の中に文法書のようなかたちで入っている。説明を読むだけの項目と、例文が付いている項目とがある。例文付きの項目では、一つ一つの例文が早くページをめくって次に進みたくなるような物語になっており、学習者が退屈な文法学習をなるべく楽しんでもできるような工夫がされている。「参照事項」の中には、動詞活用表、語彙集、辞書が入っており、逐次参照できるようになっている。 アクセント・発音についての項目で、実際に発音を聴くことができないのは残念。また、説明を読んでいる途中でも勝手にページが変わってしまい、じっくり読むことができないのも難点である。

文法事項の網羅性が低くなる要因には、教材が想定した学習者のレベルと実際の学習者のレベルが適合していない点がある。調査教材は初級学習者用のものが 9 割を占める一方、本調査のモニターは既に目標言語を習得している。そのため多くのモニターは「必要な文法事項が網羅されていない」とコメント欄で意見を述べていた。

文法事項の適切な範疇化という点では、教材の目的や形態が強く関係する。教材 15 を除き全ての教材は文法事項を教える教材に特化してはいない。そのため、文法的には基礎的な事項であるが、会話中に含めにくいために後回しになったり、その逆に文法的には高度な事項であるが会話に頻出するために最初のほうに出てきてしまったりする可能性がある。そうしたことが生じていることを、下にあげる教材のモニターは指摘している。さらにこうした理由のゆえに、表 4.の「7. 文法練習教材は独立した教材のほうがよい」には多くのモニターが同意している。

27. Tell me More French (Auralog)	
文法事項	à または de+le または les の縮約, 部分冠詞, 複合語の複数形, 序数詞, où または ou?, jouer de と jouer à, 形容詞の女性形, 所有形容詞について, 不定形容詞 tout, 修飾語句, 同等比較, 比較級と最上級, 等位接続詞 ni, 副詞 tout, 量の副詞, 否定の副詞, ne...plus と plus の違い, 制限の副詞句 ne...que, 所有代名詞, 不定代名詞 tout, 関係代名詞 dont, ce que, 代名詞 y, 補語人称代名詞の位置, 命令法の動詞と en と y, mettre の直説法現在, descendre の直説法現在, entendre の直説法現在, prendre の直説法現在, 複合過去における過去分詞の一致, 近接未来, avoir と être の単純過去, pleuvoir の単純過去, 単純過去, 第3グループのいくつかの動詞の単純過去, aller と faire の条件法現在, aimer と préférer の条件法現在, devoir の条件法現在 +不定法, pouvoir の単純未来と条件法現在, être と avoir の条件法過去, 接続法, 代名動詞, 推測の表現, 疑問の様々な形, espérer que +不定法, il faut que +接続法, penser que
コメント	・・・あまり組織的に整理されておらず, 多少ランダムであるような印象も与えるが, 個々のレッスンに出てくる場面や会話の中からその都度学ぶ文法事項が決まっているので, 多少ランダムになるのは仕方がないのかもしれない。

文法事項の配列については, 簡単なものから難しいものへという配列は共通している。この点で表 4 の「5. 文法は易しい文法から難しい文法へと段階的に提示される」で高い評価を得ている教材を下に紹介する。

6. ハイパー中国語 実用漢語課本(東方書店+クリエイト大阪)	
文法事項	1 課: 挨拶言葉 (你好) 2 課: 形容詞述語文 (程度副詞あり), 形容詞述語文の疑問文 3 課: 形容詞述語文の否定文 4 課: 指示詞 (这/那, 独), shi (A=B), 人称代名詞, 人称代名詞+名詞 (親族名詞) 5 課: 代名詞+的 (所有)+名詞, shi (A=B) の否定 6 課: 疑問詞疑問文 (哪, 谁), 連体修飾 (名詞+名詞) 7 課: 疑問詞疑問文 (什么) 8 課: 挨拶言葉 (不客气, 谢谢, 欢迎欢迎, 请进) 動詞述語文 (目的語あり), 動詞述語文の疑問文 9 課: 挨拶言葉 (您贵姓, 请问) 10 課: 在 (動詞), 挨拶言葉 (请坐), 疑問詞疑問文 (多少+量詞), 数量表現 (0~5) 11 課: 挨拶表現 (不謝), 動量詞・目的語なし (一下), 挨拶言葉 (再见) 数量表現 (6~10) 1 2 課: <復習>

	4 5 課：＜復習＞ 4 6 課：把字文（目的語なし/動詞＋了，動詞の重ね型，結果補語，方向補語） 4 7 課：把字文（目的語あり），「除了～以外，还（也）～」，「除了～以外，都～」「除了～以外，場所＋没有別的～了」 4 8 課：因为～所以～，誇張表現（疑問詞） 4 9 課：受け身文（被，让，叫），誇張表現（連～也/都），不但～而且～ 5 0 課：＜復習＞
コメント	基本的文法事項をほぼ網羅している。比較文・受身文・使役文・“把”構文といった，重要事項も出ている。会話にも重きが置かれているが，同時に文法も重要視されている。

文法事項に関するモニターのその他の意見としては次のようなものがあった。まず，マルチメディア教材の利点として，事項を説明する際に色を用いたりするなど視覚に訴えるものになっている点は高く評価されていた。一方，文法を説明するメタ言語の問題をあげるモニターがいた。教材によっては目標言語や英語による説明しかなく，それらの言語の使用に困難を感じる学習者にとっては理解することが難しい。また，「日本人の感覚とはかけ離れた文法シラバスで，日本語母語話者の陥りやすいエラーに対する配慮もない。」と評価された教材もあり，日本人学習者が英語について既に学んできた文法シラバスに似たシラバス体系も考慮する必要があるかもしれない。

4.5. 語彙

教材中に取り上げられる語彙については本調査では多くの情報を得ることはできなかった。しかし表 4 の「3. 語彙は易しい語彙から難しい語彙へと段階的に提示される」の評価が全体的に低いことから，語彙の配列に対するモニターの不満が強いことがわかる。これはまず何をもって語彙の易しさや必要度を決めているのかという基準の違いが教材とモニターの間にあることが考えられる。またその一方で会話中心の教材であれば，語彙は会話の内容や場面によって制約されるため，必ずしも学習者の必要に応じた語彙のみを提示するわけにはいかないという理由もあると思われる。

下に例としてあげる教材 14 は語彙に特化した教材である。調査では調査項目として場面設定の観点から，また文法事項の観点から教材に関する意見を求めているために，この教材についてはどのような場面に出てくる語彙がどのように配列されているか，またどのような文法的特徴を持つ語彙がどのような順番で現れているかという視点でモニターは報告を行っている。

14. Einblicke Lernprogramm deutsch 12: Vokabeltrainer (Goethe Institut & DKF Multimedia GMBH)	
場面から見	共に(1)，住居と引っ越し(2)，祭－休暇－自由時間(3)，学校と若者(4)，仕事(5)，大学(6)，環

た語彙	境と自然(7), 皆の文化(8), ドイツ・ヨーロッパ・世界(9), クロスワードパズル, 言葉探しクイズ, 絵当てクイズ
コメント	場面設定は主にテーマ別に設定されたシリーズの CD-ROM 第 1~9 巻に対応していますが, 評価できる点は, 各テーマがこのシリーズだけでなく, 実際の会話の中での話題, もしくは初級から中級程度の語学授業で扱われるテーマにも即していることです。そのため, 習得した語彙は, いわゆる基本語彙でなくとも以後目にすることは多いはずなので, 記憶にも残りやすく, また利用価値の高いものといえます。 改善できる点は, このシリーズ自体のテーマ選択が社会的事象に偏っていることです。一部, 劇場の話など, 文化的側面を扱った章もありましたが, ほんのわずかです。入門を過ぎたら一般的な語学教材にも, 地域研究的な題材, すなわち文化・文学, 政治・経済, 宗教等の話題も徐々に導入していくとよいと思います。
文法から見た語彙	名詞合成語(2, 3, 6, 7, 8, 9), 形容詞化語尾(4), 機能動詞構造(名詞+動詞のイディオム)(5, 7), 前置詞支配の動詞(8), 形容詞の名詞化(9)
コメント	この CD-ROM は語彙トレーニングのためのもので, 文法トレーニングは別にあるので, いわゆる「文法事項」の習得は対象になっていないようです。

4.6. 練習問題

練習問題はコンピュータを利用した教材の利点が生きる分野である。一つは繰り返し可能な点であり, 同じ事項について複数の形式, 異なる問題で繰り返し練習可能な点が評価されている教材があった。また練習問題に時間制限が可能な点や, 正解や不正解の判定が速い点, また統計的に到達度を示す評価などもコンピュータ・プログラムを利用した教材の長所である。また, マルチメディア対応の教材の利点としては, 問題に画像や音声を利用できることや, 学習者に発音させる形式の問題を作成できる点があげられるだろう。また, 正解・不正解に応じて効果音を出す機能は多くの教材に共通してみられた。

本調査では練習問題について詳細な記述を求めることはなかったが, それを行ったモニターもいた。画像を見て, 発音して答えるなど, マルチメディアを生かした問題形式が見られる。

4. Tell me More -The Complete Method (Auralog)	
練習問題	どの問題に関しても, 日本語訳は一切でない。全問正解の時点で拍手や歓声が起こる。正解していないとブーイングや爆発音が起こる。 1. 語の連想 (反対語と類義語) 各レッスン 2 ページずつ。単語と単語をドラッグして線で結ぶ。 eg.abrir と cerrar, joven と viejo, etc. 2. 語の並び替え

	各レッスン 15 ページくらいで、与えられた語を並べ替えて文を作り、その文を発音する。コンピュータがうまく認識しないと、間違っても正解になったりする。 3. 空白を埋める 各レッスン 7,8 ページで、1 ページに 5,6 問ある。与えられた語(句)をドラッグして空白に埋める。 4. ハングマン 各レッスン 20 ページくらいある。たとえば、「bonita, linda, agradable」から連想する語、というような形式で、アルファベットを選んでいく。間違えると、絞首台が次第に組み立てられていって面白い。 5. 書き取り 各レッスン 25 ページくらいで、各ページに 5 センテンスずつ出題される。完全なディクテーション。初めに会話の全文章を聞き、次に 1 文ずつ聞いて書き取る。 6. 画像／語の連想 各レッスン 10～15 ページくらい。画像を見て、当てはまる語を 3 択の中から選び、発音する。 7. 適語選択 各レッスン 10 ページくらい。6 択で、主に文の動詞を選んで発音する。 8. クロスワードパズル 何種類もある。クリックしたところの単語をコンピュータが発音するので、その単語のアルファベットを埋めていく。
コメント	練習問題はバラエティに富んでいて面白い。特に、解答を書くだけではなく発音させるなど、工夫が見られる。会話のディクテーションはこれらの項目の中では最も難易度が高い。コンピュータの発音も早い。それに対し、語の連想で画像に見合う語を選ぶものはばかにしたかのように易しい。難易の差がありすぎるように感じる。

5. 結論

本検証調査の結論として強調したいのはマルチメディア教材の利点を十分に生かした教材開発が必要である点、また学習者ニーズに十分適合したシラバス構成、教材開発を行う点である。

5.1. コンピュータ・マルチメディアを利用した教材の利点

既存教材の多くではマルチメディア教材の利点が十分生かされており、そこから学ぶべき点は多い。発音教材であるならば発音を学習者に聞かせる点はもちろん、学習者に発音させそれを保存したり、ネイティブスピーカーの発音と比較・評価するシステムを取り入れることは重要な機能と言えるだろう。波形の表示も役立つ場合がある。また画像や映像を

使って、調音方法を解説することや、学習者の発音に対する精度の高い評価・矯正の方法を模索することも必要であろう。

会話学習教材でもマルチメディアを生かすことは可能である。もう既に多くの教材では画像や映像が会話教材の中に取り入れられているが、これらは学習者の会話への興味をかきたてるものになると同時に、身振りや表情などの非音声コミュニケーションに対する理解や、目標言語が話されている地域のへの理解を深めることができる。文法については主に練習問題の分野でコンピュータを利用した教材の利点が強調できるであろう。多くの練習問題を学習者に繰り返し与え、その結果に対する即時の評価を与えることができる点は意味が大きい。

技術は長足の進歩を遂げており、近年こうしたコンピュータの利点を利用できる分野は広がっている。一つはコンピュータの高性能化と記憶容量の拡大である。これにより、以前よりも質の高い音声や映像の提供が可能になっている。またブロードバンド回線の普及により、インターネット上に教材そのものを設置したり、インターネット経由で補助的な教材を容易に入手したりする環境が整い始めている。本調査は 2001 年時点のものであるが、既にその萌芽は見え始めている。

5.2. 学習者ニーズへの適合

しかしこうした様々な技術を利用した教材を作成しても、学習者のニーズに適合していなければ、その教材の効果を減じる可能性は大きい。例えば会話学習教材については、その場面は遭遇頻度の高いものである必要がある。これには学習者が目標言語に使用している地域に住んで他の人と生活していくことが目標なのか、それとも旅行者として短期間滞在することが目標なのか、またその場所に関するある特定の、しかし高度な語彙知識を要する分野の知識を習得することが目標なのかといった学習者の学習目的が関係してくるだろう。

また日本人学習者向けの教材を作成するならば、日本人学習者が感じる必要性を考慮することも必要であろう。発音や文法を扱う部分ならば日本人学習者が陥りがちな間違いを想定した練習問題を作成する必要があるだろうし、語彙ならば目標言語を使う際に含まれる可能性の高い語、例えば「日本」「日本の」「日本語」といった語彙を教材中に含めることは有益だろう。また、日本語による操作説明や解説を行う必要性は多くのモニターが指摘している。

しかしこうした学習者ニーズは個々の学習者によって異なるため、全てを一つのプログラム、コンテンツの集合に任せることは困難である。それゆえ、目的ごとに特化した教材を作成することや、教室での対面授業との連携や、メールなどによる人間を介在させた教

材の作成も考慮することができるだろう。

参考文献

先進学習基盤協議会(2003)『e ラーニング白書 2003/2004 年版』オーム社.

先進学習基盤協議会(2004)『e ラーニング白書 2004/2005 年版』オーム社.

竹蓋幸生(2002)「外国語 CALL 教材の高度化の研究」『平成 13 年度計画研究力 研究成果報告』(研究代表者 坂元昂) 特定領域研究 (A)「高等教育に資するマルチメディアの高度利用に関する研究」(領域 120) pp. 241-269.

竹蓋幸生(2001)「英語 CALL 教材の高度化の研究」『平成 12 年度計画研究力 研究成果報告』(研究代表者 坂元昂) 特定領域研究 (A)「高等教育に資するマルチメディアの高度利用に関する研究」(領域 120) pp. 159-172.

辻新六(1987)『アンケート調査の方法—実践ノウハウとパソコン支援』朝倉書店.

結城健太郎(2002)「D モジュール開発のための場面シラバスと機能シラバスに関する基礎調査」口頭発表, 東京外国語大学語学研究所.

資料 1：調査教材リスト

ID	教材名	言語	分類	制作・販売
1	Español interactivo	スペイン語	初級	Universidad Politécnica de Valencia
2	Learn SPANISH Now!	スペイン語	初級	Transparent Language, Inc.
3	Talk to Me Spanish	スペイン語	初級	Auralog
4	Tell me More -The Complete Method	スペイン語	初級	Auralog
5	Dig 中国語学習システム	中国語	初級	オムロンソフトウェア
6	ハイパー中国語 実用漢語課本	中国語	初級	東方書店・クリエイト大阪
7	はじめて学ぶ 基礎講座 中国語	中国語	初級	国際語学社
8	やさしい中国語入門	中国語	初級	(株)セイコーアイ・メディアサービス
9	王老師の標準中国語シリーズ	中国語	初級	(株)マネージ
10	初級中国語 北京言人	中国語	初級	アーク・ビレッジ
11	Deutsch Eins & Zwei	ドイツ語	初級	MultiLingua by USM
12	Einblicke	ドイツ語	初級	Goethe Institut & DKF Multimedia GmbH
13	Einblicke 11: Sprachtrainer	ドイツ語	初級	Goethe Institut & DKF Multimedia GmbH
14	Einblicke 12: Vokabeltrainer	ドイツ語	初級	Goethe Institut & DKF Multimedia GmbH
15	Grammatiktrainer Lernprogramm deutsch	ドイツ語	初級	Goethe Institut & DKF Multimedia GmbH
16	Learn German Now Ver.8.0	ドイツ語	初級	Transparent Language, Inc.
17	Sprachkurs Deutsch 1, 2, 3	ドイツ語	初級	Verlag Moritz Diesterweg GmbH & Co.
18	Testmodul Lernprogramm deutsch	ドイツ語	初級	Goethe Institut & DKF Multimedia GmbH
19	20 sur 20 en orthographe	フランス語	初級	Club PoM Logiciels
20	FUNAMBULE Le français en action	フランス語	初級	Edition Didier
21	Learn FRENCH Now!	フランス語	初級	Transparent Language, Inc.
22	Les Bases du Français	フランス語	初級	Génération 5
23	Parle-Moi Français 1	フランス語	初級	Auralog
24	Tell me More French 1	フランス語	初級	Auralog
25	Learn PORTUGUESE Now!	ポルトガル語	初級	Transparent Language, Inc.
26	CALL 教材シリーズ中国語中級 大家好! 我是刘庆国	中国語	中級	メディア教育開発センター
27	Tell me More French	フランス語	中級	Auralog
28	Tell me More Advanced	フランス語	上級	Auralog

資料 2 : 教材概要(モニターによる)

以下は各教材についてモニターがまとめた概要である。上から教材名と出版社，概要，アピール，備考，長所，改善点である。アピールとはパッケージ等に記載されている教材のアピールポイントであり，一部を除いて和訳されている。長所はモニターがその教材の長所であると考えた点，改善点はモニターがその教材について改善するべきと考えた点である。

1. Español interactivo (Universidad Politécnica de Valencia)	
概要	5 大学連携の外国語学習教材開発プロジェクト CAMILLE (Computer Assisted Multimedia Interactive Language Learning Environment)によって開発されたスペイン語学習ソフト。このシリーズには，スペイン語のほかに，英語，フランス語，オランダ語がある。スペイン語バージョンは，Universidad Politécnica de Valencia 教授 Ana María Gimeno-Sanz のチームが開発にあたっており，姉妹編としてカタルニア語のソフトも出版している。初学者をターゲットにしたソフトで，簡単な日常会話のフレーズと語彙，基本的な文法事項の練習が中心となっている。また，付属の音声録音機能でいつでも好きなときに自分の発音を録音・再生できるが，発音に対する評価，矯正のプログラムはない。各課の始めにスペイン語でその課の内容が説明されるが，まったくの初学者にとっては聞き取りが難しいかもしれない。練習問題は，択一式のゲーム形式のものと，書き取りの二種類に分かれていて，学習者の能動性を促す工夫された構成になっている。加えて，設定されたテーマに沿った場面を実際にネイティブが演じたビデオも各課に二つずつ用意されている。ヘルプの言語は，起動時に英語・フランス語から選択でき，文法や各課の練習内容なども，スペイン語のほかに英語・フランス語で表示できる。
アピール	Español interactivo es un curso multimedia en CD-ROM para el aprendizaje autónomo del español en el nivel de principales. -60 horas de trabajo y más de 200 ejercicios interactivos con sonido, vídeo e ilustraciones para practicar los contenidos presentados. -Más de 30 minutos de imágenes en video que presentan situaciones reales y 3 horas de sonido, con diferentes voces y contextos. -Función “Estudio de grabación” para practicar la expresión oral y corregir la pronunciación. -Dos diccionarios bilingües con voz (Español-Francés/Francés-Español y Español-Inglés/Inglés-Español). -3 libros electrónicos con textos traducidos al francés y al inglés: un libro de funciones

	comunicativas, un libro de gramática y un libro sobre cultura española (cocina, arte, fiestas, economía, etc.).
備考	なし
長所	一つのフレーズを、場面を変えて繰り返し練習できること。視覚的、網羅的に単語を覚えることが出来ること。
改善点	文法事項が独立していて、各課の内容と結びつかない。

2. Learn SPANISH Now! (Transparent Language, Inc.)	
概要	TRANSPARENT 社の外国語学習ソフトシリーズの一つ。会話練習のための4つのストーリーを中心に、ゲーム、リスニング+スピーキング、会話練習、という見出しに分かれている。初級から中級者用のソフトで、付属のマイクを使っての会話練習が中心である。発音練習として、雛形の発音と学習者の発音が比較できるようになっている。発音に対する評価のプログラムがある。練習問題は択一式のゲーム形式で行われる。文法はネイティブ・レベルの語彙で説明され、理解が難しい。使われている画像は動き、臨場感があるが、ソフト自体の使い方がわかりづらい。
アピール	一万語以上の語彙、本物のネイティブ・スピーカーを見ながら発音を聴くことができる、本番の会話に参加できる、自分の発音を録音し、聞きなおし、比較できる、学ぶのが楽しくなるゲームと課題
備考	TRANSPARENT 社（米国）制作“LEARN LANGUAGE NOW!”シリーズ中の一点
長所	自分の発音を聞くことができること
改善点	文法事項の説明に工夫がたりないこと

3. Talk to Me Spanish (Auralog)	
概要	Auralog 社の外国語学習ソフトシリーズ Talk to Me の一つ。このシリーズは英語の他にフランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語のバージョンがある。それぞれに初学者・中級者レベルと中級者・上級者レベルがある。なおこの報告で扱うのは前者である。学習内容は会話などの内容理解と口語表現の理解に重点が置かれている。Dialogue のコーナーは質問に対する適切な答えを選択肢の中から選ぶ、または与えられた状況に対して選択肢の中から適切な応答、対応表現を選ぶという形になっている。会話の状況が写真でも表現されるが、スペイン語圏の映像を利用していることが明らかな場合もあり魅力的でわかりやすいものになっている。また必要に応じて英訳も参照できる。Exercise のコーナーは Dialogue で取り上げられた内容を前提にした語順整除、適語選択、語彙理解確認、書き取りで構成されている。書き取りはキーボードでの入力にな

	っている。発音のコーナーはモデルの発音にならって学習者が発音するスタイルになっているが、日本語/英語キーボードにないキーは画面上にボタンで表示される。 Pronunciation のコーナーではモデルの発音に続いて学習者が発音する。両方の発音がともに波形で視覚化されており比較が容易である。またこれに加えてどれくらいモデルの発音に近いかが数値の形で示され、3DG を利用して唇と舌の動き、気流の流れも参照できる。なおヘルプやガイドツアーも用意されているが、日本語のものはない。またインターネットから新たな Exercise を手に入れることもできる。
アピール	外国語が話せるようになる一番の近道！ Talk to Me は発音の認識機能を外国語学習に利用したはじめてのソフトウェアで、外国語を早く話せるようになるためには不可欠なものです。
備考	Auralog 社（英国）制作 “Talk to Me” シリーズ中の一点。
長所	Dialogue については必要とされるコミュニケーションの度合いに応じて配列されていることは評価すべき点だと思う。 Pronunciation については波形で発音が表示されモデルと比較できることまた学習者の発音に客観的な評価が与えられることがあげられる。 Exercise については様々なスタイルの設問が用意されていることが考えられるだろう。また、それぞれのコーナーが比較的簡単に行き来できる点や英訳が参照しやすい点はよいと思う。
改善点	日本語訳や日本語のヘルプも用意して欲しい。これは日本語話者の学習者にとっては切実な問題だろう。メニューの選択が全てアイコンでわかりにくい点はコンピュータの習熟度に依存しているかもしれない。またディクテーションがキーボードの入力になっているが、最初の設定の時点でキーボードの設定を変更し、スペイン語の配列で入力できるほうがよいかもしれない。アクセント付きの文字などを画面から選択するのは不便なシステムである。また英語も学んだ経験のない全くの初学者にとってはアルファベットの書き方を詳しく解説することは有益だろう。また、最低限でよいので体系的な文法の解説も加えればより効果的に学習を進める助けになるだろう。

4. Tell me More -The Complete Method (Auralog)	
概要	フランスの Auralog 社の 30 言語ある外国語学習ソフトシリーズのひとつ。 Level1 (Beginner) とあり、完全な初心者から基礎を固めたい初級者向けとなっている。すべてのレベルが 100 時間以上の言語学習 (35 時間の会話練習) において、500 以上のセンテンス、2000 語以上の単語認識、1500 語の語彙集からなる。レッスンの選択をし、ビデオによるコンプリヘンション、会話練習、さまざまな練習問題、発音練習、単語辞書と文法、練習結果の画面に進む。オプションによって、コンピューターのナレーションの速さや音の大きさ、理解

	度チェックモードの変換などができる。ただし、ビデオはすべてのレッスンでそれぞれの内容が用意されているわけではなく、6つあるレッスンのうち2つは同じ内容のビデオである。つまり、ビデオの種類は3つしかない。ビデオの朗読のスピードは標準設定ではかなりの速さで、文法説明もすべてスペイン語でなされる。まったくの初心者には、語彙的にもほとんど理解できないだろう。練習問題の中には、非常にシンプルでまったくの初心者にもできそうな問題もあるが、かなり偏りがある。
アピール	言語教育のスペシャリストチームによって作られた「Tell me More」は言語習得のすべての重要な要素をカバーしている。すなわち、オーラルと書くことによる表現、内容理解(リスニング)、発音、語彙、そして文法という網羅的練習問題である。 学習者の発話をコンピュータが理解することで、コンピューターとのインタラクティブで自然なやり取りが可能になった。
備考	なし
長所	練習問題の方法が工夫されている。学習者が発話し、それをコンピュータが認識する練習が多いので、発話によって口を慣らす練習になるだろう。
改善点	発音をいい加減にしても、リズムやアクセントがあっていると良しと認識してしまう。文法説明も文法用語もすべてスペイン語では初級者にはわからない。場面設定が貧弱である。教材全体が体系的な文法習得を意識して作られていない。そのつどばらばらな文が提示されてくる感じ。容易なものから難しいものへの段階がまったく示されず、学習の順番がない。

5. Dig 中国語学習システム(オムロンソフトウェア)	
概要	なし
アピール	なし
備考	なし
長所	何度も同じ単語や文が出てくる（必ずしも良い点ばかりではないですが）
改善点	・画像がほとんどなく、画面が単色であり興味がわからない ・文法事項を学ぶ際には、今何という文法を学んでいるのかを提示しながらの方が良いと思う。 ・例文がすべて短文。つながった文章もあった方が良いと思う。

6. ハイパー中国語 実用漢語課本(東方書店＋クリエイト大阪)	
概要	中国語入門コースの標準テキストとして定評のある北京語言学院編『実用漢語課文[日本語版]』東方書店刊（原書：北京・商務印書館刊）の1，2巻を4枚のCD-ROMに電子化したもの。

アピール	本格的な自習教材，また教室での中国語学習の補助教材に最適。課文，閲読，単語，会話練習など400分以上の音声を収録，聞きたい箇所をいつでも自由に再生！聞き取り，書き取り，ロールプレイング，練習問題誤答に対するコメントなど，インタラクティブなメニューがいっぱい！音節表，単語学習，イントネーション練習では自分の声を録音して聞ける！
備考	なし
長所	・文法がきちんとおさえられている。ロールプレイングが出来る。課文の他に補充文があり，多くの表現に触れる事が出来る。 ・50課までと長いので，無理のないペースで身につけられると思う。 ・自分の発音を録音して再生することができる(機能には問題あり)。 ・本文はテキスト無し，中国語(ピンインあり・なし・声調のみ)，日本語と好きなモードで聞ける。後半ではテキスト無しか漢字のみ表示かしか選べず，学習者のレベルアップに対応している。 ・文のリズムやストレスについて詳しく説明がある。 ・各課に本文だけでなく，レベルに合った閲読も用意されている。 ・「ロールプレイング」で会話の練習ができる。 ・語彙と文法の検索ができ，忘れてしまった既習項目にジャンプすることができる点。
改善点	・操作ボタンをもう少し大きく分かり易くして欲しい。 ・動画がない。あった方が興味を持てると思う。 ・音声の質がかなり悪い。雑音をなくしてほしい。 ・計算機側の問題かもしれないが，しばしば停止した。 ・各課の練習からメニューに戻るボタンがあるとよい。課を飛ばしたり戻ったりしづらい。 画面に「戻る」ボタンを作るなどして操作を分かりやすくして欲しい

7. はじめて学ぶ基礎講座 中国語(国際語学社)	
概要	なし
アピール	Windows OS に対応，モニタ画面を通し，文字・音声・画像を見ながらインタラクティブな自学練習が可能，この教材で必要な操作はクリックだけ。(画面上にあるアイコンにカーソルを置き，マウスのボタンを押すだけである)，語学教室において(少人数クラス)，本書籍(教科書)があるので，視聴覚教材として用いれば，さらに便利，パソコンCDで始める補習教材ソフト
備考	なし
長所	・法説明がやや詳しい ・習っていない文法は出てこない

	・画面が見やすい
改善点	・ソフトを起動してから実際に学習が始まるまでの前置きが長すぎるので、ジャンプ出来るようにしてほしい。 ・声調を学ぶ課がない点 ・例文が不自然。 ・例文は大部分が一問一答式の短文である。場面を設定した会話も必要である。 ・例文を読むスピードが遅すぎる。初心者向けにゆっくり読むことも必要だが、中国語のリズムを学ぶためには自然なスピードの発音も聞いたほうがよい。早いのと遅いのを両方再生できるようにするのはどうだろうか。 ・カナ表示は不必要だと思う。ピンイン習得の妨げになる。 ・練習問題の中に基礎語彙ではない語彙が頻繁に出てくる点。しかもそれらの語は「単語」のコーナーで取り上げられていない。音声が付いているにもかかわらず発音のカタカナ表記を表示している点。 ・5課の練習問題1で、「布」と書かれたカードをドラッグして正しい位置に移動させると、そのカードがなぜか「鞋」という字に変化してしまう。ソフトを製作する際のミスだと思われるので訂正したほうがよい。

8. やさしい中国語入門 ((株)セイコーアイ・メディアサービス)	
概要	なし
アピール	・基礎知識・発音の基礎・会話編・風物誌・行政区画データ等豊富な内容を満載。統一された簡単な操作と丁寧な解説で対話式に学習できる ・ビデオ画像・音声データ・レコーディング機能等 CD-ROM ならではの機能を満載。『見る』、『聞く』、『話す』を効果的に学習できる ・中国語のあらゆる音の組み合わせをクリック一つで再現。自分の声を録音し、比較しながら繰り返し学習できる ・人々、風景、動物等美しい画像と BGM で各地の風物誌が楽しめる。行政区画のデータを音付で呼び出せる ・『やさしい中国語入門』テキスト版付属
備考	なし
長所	・発音の基礎をビデオ画像で学習する事が出来る。 ・旅行会話に的を絞ってある。 ・画像・音楽などに工夫が感じられ、楽しく学習できる。 ・本文を「標準」「遅い」の両方の速度で再生できる。 ・超入門者がゼロから独習できるように、「中国語とはどんなものか？」というところから丁寧に解説している点。

改善点	・会話文のモデル発音を標準的な発音にして欲しい。 ・「やさしい」中国語にこだわっているのはわかるが、学びたい人は文法事項も学べるようになっていないと更によいと思う。 ・登場人物が少ない。いろいろな発音に慣れるためにも、もう少し多いとよい。 ・読む速度に「標準」「遅い」の2種類があるが、「標準」が遅すぎる。初級者と言えどもある程度の速度に慣らしておかないと、いざ旅行に行った時、習ったのに聞き取れないということになりかねない。中国語を語学として学ぼうとする人にとっては場面設定が旅行に偏りすぎて、文法説明も物足りない。
-----	--

9. 王老師の標準中国語シリーズ 発音編 (株式会社マネージ)	
概要	なし
アピール	・中国語マスターの最初の関門 1,268 音節の発音をゲーム形式で完全マスター ・音声波形チェック機能であなたの発音をチェック 発音編では音声波形分析プログラムを独自開発。 ・ビデオやテープではなし得なかったマルチメディアタイトルならではの完全独習教材 ピンインの発音 ・聞き取り練習にゲームを採用 ・発音練習は単調で苦しいものという常識をくつがえし、楽しく遊び感覚で練習が可能となるゲームインターフェイスを採用楽しく繰り返し練習していくうちに、ピンインの聞き取りと発音の能力が身につきます ・新 HSK の問題作成陣が独自に創った教材を採用 本製品は新 HSK の問題作成メンバーである復旦大学の教授陣が監修して製作された教材を採用。世界初の新 HSK 完全準拠教材。 ・中国で撮影された現地映像をふんだんに使った中国語マスターの基礎固め ・音声波形認識プログラムで単語の発音を完全マスター ・音声波形チェック機能で単語の発音をチェック 基礎編では音声波形分析プログラムを独自開発。さらに会話についても音声波形での表示を実現 ・中国語独特のリズムの習得が独習レベルで可能。 ・映像はすべて中国国内で撮影 中国の真の姿を知っていただくために、映像はすべて中国国内で撮影しました。病院や学校、一般家庭など今までは見る機会が少なかった場所を映像でご覧いただけます。 ・HSK 式練習問題を収録 中国での語学留学を目指す方に向けて HSK 試験の問題形式に準拠した HSK 式練習問題を収録してあります。これによって試験を事前に体験し、試験の雰囲気を掴んでいただけます。
備考	なし
長所	・発音モデルの発音が標準的である。また、短文練習が出来る。

	・視覚に訴える工夫をしている。波形を使ったり、きれいな人を出演させたり。視聴した中で最もビジュアルに凝っている。
改善点	・一課ごとのスキットが長すぎる。一課分を短くし、課の数を増やすと、学習者が整理・学習しやすいのではないと思われる。 ・一見波形が出ると発音矯正に役立ちそうだが、読み取り方がよくわからないので結局どこをなおせばいいかわからない。 ・ゲームの時、正解すると出る音が非常に耳障り。

10. 初級中国語 北京言人(アーク・ビレッジ)	
概要	なし
アピール	・初級者からの体験型中国語教材 ・単語表現練習では、写真やイラストを使って 900 語以上のボキャブラリーを学習 ・文法メニューでは、会話で学習した文法を確認 ・発音、単語、表現、会話で自分の発音をネイティブの発音と比較。
備考	なし
長所	・日常生活で良く使われる場面が多く、多くの単語を習得するのに役立つ。 ・確認問題が豊富で、学習した内容を定着させることが出来る。 ・画像が多く、楽しめるように工夫されている。 ・模範のあとに自分の発音を録音して、比較することができる。 ・会話で A、B の片方だけを再生し、会話練習ができる。 ・地図(中国・世界)、人名辞典、中国基礎知識などの周辺的な知識も得られる。 ・全体のプログラムがゲームのようになっており、CG にも凝っていて楽しみながら学べる点。
改善点	・初学者用の学習ソフトであるので、四声をはっきり発音して欲しい。 ・「初級」といつているのに、第 1 課から“拜访”“告辞”といった単語が出て、文も難しい。 ・段階的なレベルアップを考慮していない。 ・文法説明が簡単すぎる。

11. Deutsch Eins & Zwei (MultiLingua by USM)	
概要	USM 社の本ソフトは、ドイツ語初心者向けで、2 つの CD がセットになっている。2 つの CD は、テーマ別に合計 14 レッスン（それぞれ 8 つ・6 つ）から成っている。それぞれのレッスンは、基本的に会話・語彙・文法の 3 つの部分で構成され、また 1 レッスンおきにテストのコーナーが設けられている。語彙は、選択したヘルプ言語と対比しながらおぼえられるよう工夫されているが、絵な

	どを用いた視覚的効果は特に期待できない。発音に関しては、マイクを使って、文単位で自分の声を録音し、ネイティブの発音と比べながら聞くことができる。しかし、間違った部分を指摘するなどの発音矯正のための配慮はされていない。また、それは文単位の話す練習が中心であり、難しい発音を取り上げて集中的に練習させるなど、単語ごとの発音練習ではない。文法の説明は簡潔でありと見やすくなっているが、文法の難易度（進度）による配列はあまり考慮されていない。
アピール	ドイツ語を始めたばかりの人、すぐドイツに行きたい人、まずはこの CD でドイツ語の基礎を学ぼう。会話・語彙・文法のバランスよい構成で、買い物・食事・住居・旅行などドイツの日常生活に必要な基本知識が自然に身につく。
備考	全項目について、4つの言語（英語・フランス語・イタリア語・スペイン語）で説明している。
長所	・自分の発音を聞くことができる。 ・話す速度が次第に速くなっていった、自然にその速度に慣れる。 ・各レッスンの構成がわかりやすく、またスタート画面で各レッスンのテーマを確認できる。そのため、特定の会話場面を探すときなど便利である。
改善点	・会話の聴取の際に、常にテキストが表示されるため、繰り返し学習したいときにはじゃまになる場合がある。テキストを画面上から消し、イラストを見ながら聞くだけの練習もできればヒアリング練習に効果的だと思う。 ・会話テキストには、名前などを書いてほしい（たとえば A：…， B：…）。 ・語彙に関して、それぞれのレッスンに出てきた単語を単にアルファベット順に並べるだけでは面白くない。単語も同じ部類別に整理するなど、楽しく語彙力が身につくよう工夫してほしい。

12. Einblicke (Lernprogramm deutsch Multimedia language trainer) (Goethe Institut & DKF Multimedia GmbH)	
概要	Goethe-Institut と dkf multimedia の共同制作による外国語学習ソフト。全 9 巻からなり教材構成はどの巻も同じで、休暇・学校・文化といったようにそれぞれテーマ別に学習できるようになっている。Goethe-Institut によるドイツ語基礎統一試験へ向けての準備の為の教材とされており、文法や単語、会話練習だけでなくドイツの歴史や地理、文化や人々の生活についても学べるように構成されている。文法の説明もあり、練習問題は択一式や穴埋め、ディクテーションや並べ替えなど様々に行われる。ヘルプは英語・フランス語対応となっており、単語帳ではドイツ文と対応する形で英文も見ることが出来るようになっている。設定された場面ごとに音声付きの映像が流れるが、その画面サイズが少々小さめなのが残念。

アピール	映像、音声、絵、図表、アニメーション、そしてゲーテ・インスティテュートによるドイツ語基礎統一試験（ZD）やドイツ市民大学連盟の内容豊かな学習材料により構成された、CD-ROM マルチメディア学習教材。
備考	Goethe-Institut/dkf multimedia 制作 全9巻
長所	・単語帳がついていて、すぐに調べることが出来る点。 ・様々な課題により、自然と単語が身につく点。
改善点	・映像を流す画面をもう少し大きくしてほしい。時折、音声が聞き取りにくく、映像も途中で停止したりするのが残念。

13. Einblicke 11: Sprachtrainer (Goethe Institut & DKF Multimedia GMBH)	
概要	Goethe Institut & DKF Multimedia GmbH 社の Einblicke Lernprogramm deutsch シリーズ全13巻のうちの1巻。発音練習を、様々な局面から個別的にトレーニングできる。
アピール	Einblicke-Sprechtrainer は Einblicke シリーズすべての内容について、「会話」と「シチュエーション」の分野から会話練習を400問以上、シチュエーション練習を350問以上提供します。
備考	Einblicke Lernprogramm deutsch シリーズのうちの第11巻。
長所	この教材は発音練習が主ですが、語単位、文単位の単純な練習だけでなく、説明画面、聞き取り問題、ビデオに合わせた会話練習などヴァリエティに富んでおり、自分の声の録音再生もできます。
改善点	インストールすると、ソフトの起動前にコンピュータがフリーズして全く利用できません。CD-ROM から起動させてもはじめから、もしくは途中フリーズし、モニタリングにも支障があります。

14. Einblicke Lernprogramm deutsch 12: Vokabeltrainer (Goethe Institut & DKF Multimedia GMBH)	
概要	Goethe Institut & DKF Multimedia GmbH 社の Einblicke Lernprogramm deutsch シリーズ全13巻のうちの1巻。テーマ別構成の第1巻～第9巻で扱われた単語について、まとめてトレーニングできる。各テーマに沿った章立てに加え、クロスワードパズル、言葉探しクイズ、絵当てクイズの章があり、単語帳のページもある。練習問題の出題形式にはいくつかのパターンがある。学習対象者には、第1巻～第9巻の既習、もしくは同等のレベルが要求され、ある程度のドイツ語知識が前提となっている。ヘルプ画面での特殊文字表示は文字化けしてしまう。
アピール	Einblicke-Vokabeltrainer は Einblicke シリーズすべての内容について、語彙の分野からマルチメディア練習問題を500以上提供します。

備考	Einblicke Lernprogramm deutsch シリーズのうちの第 1 2 巻。
長所	学習者のレベルに合わせて使用法を設定できます。本 CD-ROM の章立ては、シリーズの CD-ROM 第 1 巻～第 9 巻のテーマに沿っているので、初級者はそのうち一巻を学習した後、語彙を確認するために使えそうです。中級者は、シリーズの CD-ROM を学習していなくても、語彙力強化のために活用できます。練習問題形式のパターンが豊富です。例えば、選択問題、穴埋め問題、語彙を結びつける問題、語彙を分ける問題などがあります。それぞれの問題は、個々の語の知識、イディオムの知識だけでなく、テキスト、画像、ビデオをから得た情報を活用して回答するようになっています。また、インターフェイスにも工夫がされており、文字の入力・選択だけでなく、クリック&ドロップによる単語カードの移動、直線の記入による関連語の結びつけなど、ヴァリエーションに富み、飽きさせません。 聞き取り練習にも多くの工夫がなされています。ビデオを見ながら概略説明がされているテキストの穴を埋めたり、テキストが分割されたものを聞いて内容順にアイコンを並べ替えたりするものがあります。穴埋めをすると自動的に音声が終わってくれる点、並べ替えできる点などは、CD-ROM 以外では実現しにくいと思われます。 (正確には、簡単なものから難しいものへという方法ではありませんが、) 語彙の提示が段階的なものもあり、習得がしやすくなっています。例えば、ある特定のテキストで機能動詞構文(名詞+動詞のイディオム)を穴埋めで学ぶ際、はじめの画面では動詞を選択させ、次の画面では入力させます。そして、次に名詞を選択させ、最後に名詞を入力させます。 答えを入力すると、すぐに正解かどうか分かります。穴埋め入力問題で綴りを間違えると、修正点を指摘してもらえます。
改善点	インストールすると、ソフトの起動前にコンピュータがフリーズして利用できません。CD-ROM から起動させてもフリーズし、使えないことがよくあります。CD-ROM からの起動では、最大 16 倍速のドライブでも動きが遅く、使いにくいです。

15. Grammertiktrainer Lernprogramm deutsch (Einblicke) (Goethe Institut & DKF Multimedia GMBH)	
概要	- Goethe Institut のドイツ語学習ソフトシリーズ Einblicke の一つ。 - ここにでてくる文法問題は Einblicke Folge 1 – 9 にでてきた練習問題からいくつかを抜粋して作られものです。Folge にでてくる文法の確認としてやることをお勧めします。

アピール	Goethe Institut 主催のテスト Zertifikat Deutsch に相当するドイツ語なので、このテストを目指す学習者にお勧めの教材です。
備考	Goethe Institut と dkf multimedia の共同制作“Einblicke“シリーズ中の一点。
長所	Einblicke Folge の文法総復習ができること
改善点	文法事項が易しいものと難しいものが混在してるので、易しいものから列举していったほしい。

16. Learn German Now Ver.8.0 (Transparent Language, Inc.)	
概要	トランスパレント・ランゲージ社制作の、語学学習ソフトの中の一点（他の言語としてはイタリア語やスペイン語などヨーロッパ系の13言語が広告として挙げられている）。本教材で学習者は「ドイツ語の基礎」「ドイツ語会話」「ドイツでの言語・生活習慣」「自然な会話」という4つの課題を学習する。全ての課共通の同一画面上でテキスト、ビデオ、音声を扱いながら、学習を進めていく。画面にはその他「単語訳」「文の訳」「文法事項のチェック」「メモ帳」「しおり機能」がついている。また画面には「会話練習」「発音練習」「ゲーム」といったプログラムを起動するためのボタンがついており、学習者の判断で随時必要な練習を行うことができる。学習者の言語は英語のみだが、それに目をつぶりさえすればきわめて使いやすい学習ソフトであると言える。なお文法事項のチェックは別窓のヘルプファイルを参照する形で行う。
アピール	Unlike other language learning methods, German Now! is uniquely effective. Right away you'll find yourself in a compelling, interactive environment where learning authentic German is made easy. / With German Now!, you'll learn by immersing yourself in German. You'll participate in real conversations, read interesting articles and watch intriguing videos from Germany. Engaged in this rich multimedia experience, you may never feel like you're studying, and the fact that you are actually using German becomes transparent. / Experts agree, learning a new language requires frequent, successful experiences. Only German Now! is designed to provide the rich, rewarding experiences that built maximum comprehension.
備考	なし
長所	自分の発音を聞いてかつ視覚的にネイティブの発音と比べることができること
改善点	ゲーム形式の練習問題のうちクロスワードと穴埋め問題のねらいが聞き取りに置かれているのか語彙の意味に置かれているのかははっきりしていない。練習問題の改善を希望する。

17. Sprachkurs Deutsch 1, 2, 3 (Verlag Moritz Diesterweg GmbH & Co.)
--

概要	本シリーズは、3つのレベル（3つのCD）で構成されている。各CDは14の章、また各章は4つのレッスンから成っており、各章の最後のレッスンは復習のための練習問題が主な内容になっている。会話・発音・語彙・文法・読解など外国語学習に必要なあらゆる分野に触れられるよう工夫されている。つまり、会話中心の教材というよりは、語学学習を様々な角度からアプローチしている教材と言える。練習問題の形式も書き取り、書き換え、作文、聞き取りなど多様である。読解用のテキストは、内容の面でも忠実にしており、ドイツを中心としたヨーロッパ全般に関する基本知識を提供している。文法に関しては、一応一通り解説しているが、「表」などの提示に過ぎないところが多く、十分な説明がされているとは言えない。その代わり練習問題の繰り返しが多く、また読解などのテキストのなかでも、文法事項の理解を同時に図っている。ヘルプ言語は英語のみである。
アピール	ドイツ語の会話・語彙・文法だけでなく、様々な分野の読み物からドイツやヨーロッパ全般に関する基本知識を提供しているソフトです。
備考	なし
長所	・外国人学習者として区別しにくい発音の練習ができる。 ・文学・歴史・社会など様々な分野の基本知識が身につく。 ・内容的に知識・情報としての価値がある文を読みながら同時に文法や語彙の練習をさせられる。 ・ビデオ・オーディオの選択が可能で、聞き取りの練習によい。 ・各章に復習のコーナーが設けられており、練習問題や書き取りなどが豊富である。 ・語彙や発音練習がテーマ別にまとまっている。
改善点	・各章・各レッスンがそれぞれ細分化されすぎて、一つ一つのコーナーが短すぎる。そのため操作に手間がかかる。 ・会話文も短すぎる。また台詞ごとにクリックしなければならない。一つの会話を続けて聞くことができればいいと思う。 ・読解などの読み物は内容的にはいいかもしれないが、初級学習者向けの教材としてはエンタテインメント性が足りない。初級学習者の興味を引くような楽しい内容や画面作りにもっと工夫してほしい。 ・文法セクションと語彙や表現セクションが混ざっている。

18. Testmodul Lernprogramm deutsch(Einblicke) (Goethe Institut & DKF Multimedia GMBH)	
概要	Goethe Institut の外国語学習ソフトシリーズ Einblicke の一つ。このテストは Einblicke Folge 1－9 にでてきた練習問題からいくつかを抜粋して作られた、全体の総復習テストである。文法の難易度（進度）による配列は考慮されてい

	ない。
アピール	この Testmodul は Goethe Institut 主催のテスト Zertifikat Deutsch に相当するドイツ語なので、このテストを目指す学習者にはお勧めの教材です。
備考	Goethe Institut と dkf multimedia の共同制作“Einblicke“シリーズ中の一点。
長所	Einblicke Folge の総復習ができること
改善点	テストで間違えた箇所を確認できるものにしてほしい。

19. 20 sur 20 en orthographe(Club PoM Logiciels)	
概要	この CD-ROM の対象年齢は 7 歳から 12 歳である。大人が学習するには幼稚すぎるかもしれない。しかしながら、フランス語の綴り字の規則や動詞の活用が主な内容なので、初学者に役に立つ部分は多くある。日本語版 Windows では文字化けが起きるので、その点を解決しなければ日本人学習者のフランス語学習には不向きである。パソコンがフランス語を読み、そして、書くことができる環境になくてはいけない。
アピール	100 時間以上の学習時間、40 時間以上の会話訓練、700 以上の文と 2000 以上の語、1000 題以上の問題、インターネットアクセス
備考	Talk to Me シリーズの一つ
長所	ディクテーションができること
改善点	Mac でも用いる事ができると良いと思う。

20. FUNAMBULE Le français en action (Edition Didier)	
概要	初学者用のソフトで、簡単なフレーズの聞き取り練習が中心である。各スキットに対する内容に関して答える練習問題がある。発音に対する評価や矯正のプログラムはない。フランス語での軽い文法説明と語彙リストがある。主にリスニング力を高めようとする学習者向けである。
アピール	青年、または大人の初心者向け。コミュニケーションを取ることを目的とした 1 2 の課からなる日常生活に必要なフランス語基礎を学べる教材。
備考	なし
長所	あらゆる地域のフランス語話者の日常会話が聞けること。学習用のフランス語ではない。
改善点	ひとつひとつのスキット（インタビュー形式）が少し短すぎる。

21. Learn FRENCH Now! (Transparent Language,Inc.)	
概要	Transparent Language 社の外国語学習ソフト Language Now!シリーズの一つ。このシリーズは 16 言語（英・独・仏・伊・西・葡・蘭・露・ラテン・スウェーデン）

	ン・アイルランド・ポーランド・アラビア・ヘブライ・中・日）を同一の教材構成でカバーしている。 対象は初級から上級，年齢的には 12 歳から成人までとされ，語彙と簡単なフレーズ，および会話の聞き取り・反復練習と共に，4 種類の練習やゲーム（単語並べ替え・フレーズ並べ替え・穴埋め・クロスワード）が用意されている。また当教材のサイトにアクセスすることでオンラインの読解・文法試験に参加できる。 学習画面のレイアウトは左上がテキスト本文，左下がリアルタイム英訳（単語・句・文に分けて表示，隠すことができる），右上がテキストのビデオ，右下が文法説明（該当項目をリアルタイムで表示）となっており，見やすい配置である。 どのレッスンでも発音練習が可能で，雛形の発音と学習者の発音が比較できるようになっている。発音に対する評価は 3 段階（「要練習」/「合格」/「見事！」）でなされる。矯正のプログラムはないが，自分の音声を録音し，高さ・強さ・摩擦音について音声波形やピッチ曲線をネイティブのものと並べ比較することが出来る。 文法の説明はテキスト内の語や句，文に対しリアルタイムで該当項目が表示され，さらに詳細をクリックして確認することが出来るが，テキスト内で明示的に文法を扱ってはいない。 学習者としては英語話者を想定しヘルプも英語にのみ対応，日本語のガイドはない。本体には 4 つの初級テキストが含まれるが，アドオン・ディスクとしてテレビ番組レベルのコメディや自然な発話に近いインタビュー等 7 枚が用意されており，中級・上級の学習が可能である。
アピール	聞く・話す・読む・書くの 4 つのスキルをカバー。ネイティブとの会話に参加するスタイルにより会話力が身につく。教材を段階化し初級者から上級者までに対応。10,000 以上の教育機関で使用され効果は実証済み。
備考	今回モニターの対象としたのは本体マスタープログラム 4 タイトルおよびアドオン・タイトル 7 タイトルの計 11 個のテキスト。
長所	・自分の発音を聞き，評価を知ることができること ・練習やクイズについて過去の成績履歴と比較し，上達度を確認できること ・テキスト中の単語や文法項目を瞬時に検索できること
改善点	・文法の段階的学習を行えるテキストが不十分なため，全くの初学者には難しい ・フランス語の各母音・子音の正確な発音，および音と文字の対応について十分な練習ができない ・亀のアイコンをクリックすることで遅い速度で聞くことができるが，音質に

	改善の余地あり
--	---------

22. Les Bases du français (Génération 5)	
概要	初級フランス語の学習ソフトで、聞き取り・書き取り練習が中心である。ディクテや間違い探しなどの練習問題がある。発音に対する評価や矯正のプログラムはない。文法説明や語彙リストはない。主にフランス語を母国語とする子供向けである。
アピール	日常生活で使うスペルを覚えられるように作られたシナリオ。非言語主義国へ行って登場人物と話をし、誰が何のためにフランス語を侵したのか、つきとめよう。証拠を見つけ出し、フランス語を復活させよう。
備考	練習問題ではフランス語を書き込む部分が多く、アクセントを付けないと間違いとみなされてしまう。Windows98 日本語版ではアクセントが付けられないのでこの教材は使えない。他言語のキーボード設定もできる Windows2000 や XP では問題ないだろう。または、フランス語版の Windows が必要である。Mac については不明。
長所	練習問題がパズルや間違い探しなどのゲーム形式で出されるので、学習者は勉強しているという気分にならない。
改善点	文法事項の説明がないこと。

23. Parle-Moi Français 1(Auralog)	
概要	Talk to Me シリーズの一つ。この CD-ROM はレベル 1 で、初級及び中級学習者が対象である。このレベルでは基礎力をつけ、能力を強化して、会話の実践力を向上させることを目的にしている。この CD-ROM とは別に発売されているレベル 2 では、能力を深め、会話を円滑にさせることを目的としている。会話・文の発音の説明、発音の間違いの検出、3D によるフランス語音素の発音の説明、インターネットアクセスがこの CD-ROM の主な機能である。マイクつきヘッドフォンが付属されている。さらに、詳しい説明書があり、細かく説明がなされている。
アピール	100 時間以上の学習時間、40 時間以上の会話訓練、700 以上の文と 2000 以上の語、1000 題以上の問題、インターネットアクセス
備考	Talk to Me シリーズの一つ
長所	ディクテーションができること。
改善点	Mac でも用いる事ができると良いと思う。

24. Tell me More, French 1(Auralog)	
概要	Auralog 社のフランス語学習ソフトシリーズ Tell me More の一つ。このシリー

	ズは初級・中級・上級と三つのレベルに分かれた学習を同一の教材構成でカバーしている。このソフトは、個人学習者をターゲットとしており、初学者用とはいっても、語彙、簡単なフレーズ練習、文法、作文、リスニングといった全内容が網羅され、インターネットアクセスが可能ならば個人チューター制度を利用して質問したり作文の添削などを頼むこともできる。一人で学習しながらフランス語の基本的日常会話を理解するには十分な内容であり、実際には中級始めくらいまでのレベルの学習者にも使用可能な教材といえるだろう。項目選択画面、ビデオ、発音矯正、ダイアログ、練習問題、参考事項、英語翻訳、学習結果、オプション、ヘルプといった10のアイコンが配され、そこから自由に好きな項目を選んで学習できる。学習場面を選択して「ダイアログ」に進むと、それに対応する語・フレーズの発音練習にリンクする仕組みになっている。さらに、表示されるフランス語のフレーズからは文法事項・問題練習にリンクする仕組みになっている。文法は、初級用文法書一冊分程度の説明がまとまって入っている。練習問題は、書き込み形式。クロスワードパズルも入っている。取扱書、CD-ROM内の説明、表示、ヘルプ等はすべて英語で日本語のガイドはないので、英語を全く理解しない学習者には不向きな教材である。ただし、教材自体は簡単に操作できるようにつくられているので、英語を多少理解するならば、使用可能。画像は非常にきれいである。
アピール	個人学習の問題点を完全解決。 －最新の科学技術を使用した新しい外国語学習法。 －CD-ROMによる包括的言語学習法。 －一人一人の目的・レベルに合わせられる、まさに個人学習にうってつけの教材。
備考	Auralog 社（英国）制作“Tell me More“シリーズ中の一点。（英語・仏語対応、日本語版なし）
長所	手本と自分の発音を聞いて比べるのはもちろんのこと、音波を見ながら自分の発音を矯正できること。
改善点	手紙を書く、などの自由作文がない。

25. Learn PORTUGUESE Now! (Transparent Language, Inc.)

概要	Transparent Language 社の外国語学習ソフト Language Now!シリーズの一つ。このシリーズは同一の教材構成で16言語の教材を出している。初級から上級の学習者が対象とされ、語彙と簡単なフレーズ、および会話の聞き取り・反復練習と共に、4種類の練習やゲーム（単語並べ替え・フレーズ並べ替え・穴埋め・クロスワード）が用意されている。また当教材のサイトにアクセスすることでオンラインの読解・文法試験に参加できる。どのレッスンでも発音練習が可能
----	---

	であり、雛形の発音と学習者の発音が比較できる。その評価は3段階でなされる。自分の音声を録音し、高さ・強さ・摩擦音について音声波形やピッチ曲線をネイティブのものと並べ比較することが出来る。文法の説明はテキスト内の語や句、文に対し該当項目が表示され、さらに詳細をクリックして確認することが出来るが、テキスト内で明示的に文法を扱ってはいない。学習者としては英語話者を想定しヘルプも英語にのみ対応される。本体には4つの初級テキストが含まれる。さらに、アドオン・ディスクとしてテレビ番組のような構成のものから自然な発話に近いドラマ、国の文化や国民の習慣についての説明など4枚が用意されており、中級・上級の学習が可能である。
アピール	そうだ！ポルトガル語を学ぶにはもっといい方法がある！ブラジル・ポルトガル語の話す、聞く、読む、書く力を身につける。簡単に会話の力がつく。初心者にも上級者にも効果がある。世界の10,000以上の教育機関で効果を実証済み。
備考	今回対象としたのは本体マスタープログラム4タイトル及び付録のワープロソフト、アドオン・タイトル4つの計8テキストである。
長所	・自分の発音を聞くことができること ・すべての単語の発音を聞くことができること
改善点	・部分ごとに難易度を示してほしい ・自分の学習の全体的到達度を示してほしい

26. CALL 教材シリーズ中国語中級 大家好！我是刘庆国メディア教育開発センター)	
概要	CALL (Computer-Assisted Language Learning) による中国語教育の高度化をめざして開発した中級教材。旅行会話のような「よそゆき」の会話ではなく、身近な人と交わす普段着の会話をもつ雰囲気を少しでも感じてもらいたいという趣旨から、日本を舞台におき、中国人留学生と日本人とのやりとりが展開される。日本人学生役には中国人のネイティブスピーカーではなく、日本人学生が出演している。各レッスンは7つのステップに分かれており、順番に学習することで中国語のリズム、発音、会話表現を無理なく身につけられるように構成されている。
アピール	・この教材は、中国語の初歩を学んだみなさんが、さらにすすんだ会話能力を身につけることを目的に制作しています。いわば英語でいう「リスニング」能力と「スピーキング」能力の向上をめざしています。 ・この教材の舞台を日本に設定したのは、旅行会話のような「よそゆき」の言葉ではなく、身近な人と交わす普段着の会話を持つ雰囲気を少しでも感じてもらいたいからです。
備考	なし

長所	・ヒアリングの訓練が出来る。 ・中級者向けであること。 ・大学生の日本での日常生活に即して場面を設定してあること。 ・会話の場面が映像で見られること。
改善点	・文法事項の説明を付けて欲しい ・誤字がいくつかあった（“让你就等了”など）。教材なのだから念入りにチェックをすべきである。 ・ピンインが全くふられていないが、難易度の高い単語については「単語」コーナーを作り、ピンインと意味を載せる方が親切だと思う。（学習者自身が調べる方がよいのかもしれないが。） ・文法の説明がまったくない。 ・登場人物が男性に偏っている。男性・女性両方の話し方に慣れるために、バランスのよい構成であるほうがよい。

27. Tell me More French (Auralog)	
概要	Tell me More コレクションの中の一つ（他の製品としては、Erzähl mir Mehr, Dimmi di più, Dime Mäs, Vertel me Meer, Parle-moi encore）。中級者用のソフト。 Tell me More が個々の学習者のために作った学習コースに沿って学べる Guided Mode と、学習者のペースに合わせて、学習者の好みに応じてアクティビティを選ぶことができる Free-to-Roam Mode の二つのモードから構成されている。Guided Mode の場合、どのスキル（Listening, Reading, Writing, Speaking）を主に伸ばしたいかなど、学習者の目的によってスケジュールとレッスン・アクティビティの計画を組んでくれる。いずれのモードにも、インストール時に選んだインターフェイス言語（日本語は無し）の訳が必ず見られるようになっており、またオンラインサービスによるテクニカルサポートやチューターシステムも完備されている。さらに、学習者の進歩の度合いや総合評価も見ることができ、学習者のモチベーションを上げるための配慮もされている。
アピール	・独学で外国語を学ぶための完全な解法 ・最新のテクノロジーで、新しい外国語学習法を発見 ・Tell me More のコレクションは単なる包括的な CD-ROM の言語メソッドではなく、あなた自身の目的とレベルに合わせることができる真正に個人化されたツールである
備考	Auralog 社 Tell me More コレクションの中の一点
長所	発音面において特に評価する点が多いと思う。自分の発音とネイティブの発音とを比較することができ、さらに自分の発音が、発音するたびに7段階に評価されるので、どれだけネイティブのモデルと自分の発音が近いのか、あるいは離

	れているのかを知ることができる。さらに、ネイティブの発音にしても、学習者の発音にしても、波形 waveform とピッチカーブ pitch curve によってグラフ化されるので、聴覚面からだけでなく、視覚的にもネイティブの発音と自分の発音を比較することができる。また文レベルの発音練習の場合、発音に問題のある単語が赤く表示されるため、文中のどの単語の発音に問題があるのかがわかる。
改善点	発音練習の面で評価できる点が多いが、ただ自分の発音のスコアがでるだけで、どのようにしたらモデルの発音に近づくのかといったアドバイスや説明がないため、場合によっては、延々と発音を繰り返すだけで、発音が矯正されない。また、評価や学習者の発音の分析があまりにも細かく厳密なため、スコアは出るとはいうものの、どの程度までモデルの発音に近づけば十分であるのかといったことがわかりづらい。とりわけ、ピッチカーブに関しては、ネイティブのものと一致させることはほとんど不可能であるので、学習者によっては切りのない練習となるおそれがある。また、音素レベルの練習において、pain, sain, canadien, matin, faim の鼻母音が nazalized œ (un, lundi, brun などの鼻母音) になっていたが、なんらかの間違いではないかと思われる。

28. Tell me More Advanced (Auralog)	
概要	上級者用のソフトで、リスニングや発音などの練習が中心である。各レッスンごとに、リスニング・発音・語彙の練習などそれぞれ独立してできるようになっている。主に実践的なコミュニケーション力を高めようとする学習者向けである。
アピール	独学用外国語習得のための教材完全版
備考	Macintosh では使えない、とある。
長所	順番通りに進めなくてもよく、各課の好きな部分を何度も繰り返して練習できるところ。
改善点	覚えるべき文法事項の順序立てがもっとしっかりしていたら、さらにわかりやすくなるだろう。

資料 3：アンケート結果

以下は調査者が設定した項目についてモニターが各教材について評価した結果である。各項目について 5.大変そう思う, 4. そう思う, 3. どちらでもない, 2. そう思わない, 1. 全くそう思わないと見なしている。

表 1：教材について

教材 ID	1. 興味がもてる内容だった	2. 知的好奇心を満足させる内容だった	3. エンターテインメント性がある内容だった	4. 繰り返し使いたいと思う	5. 授業でこの教材を使うことをすすめる	6. 授業時間外で（個人で）この教材を使うことをすすめる	7. この教材を買って使いたい	8. この教材を大学で自由に使って勉強したい	平均値
1	4	4	5	3	3	3	3	3	3.50
2	5	4	5	4	4	4	3	4	4.13
3	4	3	3	4	4	5	4	3	3.75
4	4	4	4	3	4	3	2	2	3.25
5	1	1	1	1	1	1	1	1	1.00
6	4	5	4	5	5	5	4	4	4.50
7	3	3	3	3	3	3	2	3	2.88
8	3	3	3	2	2	2	2	2	2.38
9	3	4	3	3	4	4	3	3	3.38
10	4	3	3	3	3	2	2	3	2.88
11	3	2	4	4	3	5	2	4	3.38
12	5	5	4	3	4	4	3	4	4.00
13	4	3	3	2	3	5	1	2	2.88
14	4	3	5	2	4	5	1	2	3.25
15	3	3	2	4	3	4	3	3	3.13

16	5	3	5	5	4	5	5	5	4.63
17	4	4	2	4	3	5	3	4	3.63
18	3	3	2	4	2	5	3	3	3.13
19	2	2	4	2	2	2	2	2	2.25
20	3	4	5	3	2	4	4	3	3.50
21	5	5	4	4	2	4	4	4	4.00
22	2	3	4	2	2	4	2	3	2.75
23	2	2	4	2	2	2	2	2	2.25
24	4	3	4	4	2	5	4	4	3.75
25	4	5	5	4	3	4	4	5	4.25
26	4	4	4	4	4	4	3	4	3.88
27	2	3	3	1	1	3	1	2	2.00
28	4	4	3	4	4	5	3	4	3.88
平均値	3.42	3.32	3.53	3.12	2.91	3.74	2.68	3.10	

表 2：教材の利用価値

教材 ID	1. 発音・イントネーションの勉強に役立つ	2. 文法を習得するのに役立つ	3. 単語を覚えるのに役立つ	4. ヒヤリングの力をつけるのに役立つ	5. 会話の練習に役立つ	6. 単語や文章の書き取りの力をつけるのに役立つ	7. 目標語に親しむのに役立つ	平均値
1	4	3	5	4	3	3	4	3.71
2	5	1	3	4	5	1	4	3.29
3	5	1	3	3	4	2	3	3.00
4	1	1	5	4	2	4	3	2.86
5	2	2	3	4	1	2	1	2.14
6	5	4	4	5	5	4	4	4.43
7	4	4	4	3	3	3	4	3.57
8	2	3	4	2	2	3	4	2.86

9	4	5	4	4	4	4	4	4.14
10	3	3	5	3	3	3	4	3.43
11	2	2	4	5	5	3	4	3.57
12	3	4	5	5	2	5	4	4.00
13	5	2	4	5	5	2	4	3.86
14	1	3	5	4	2	4	4	3.29
15	1	5	3	1	1	4	4	2.71
16	5	2	3	5	4	4	5	4.00
17	5	2	3	5	2	4	4	3.57
18	1	5	3	1	1	4	4	2.71
19	2	4	4	2	2	2	2	2.57
20	3	2	3	4	2	1	4	2.71
21	4	3	5	5	4	3	5	4.14
22	3	2	3	4	2	5	4	3.29
23	5	2	3	5	4	5	4	4.00
24	5	2	2	4	4	3	3	3.29
25	4	1	5	4	3	4	4	3.57
26	4	2	4	5	4	4	4	3.86
27	5	1	2	4	3	3	3	3.00
28	4	3	3	4	3	1	4	3.14
平均値	3.46	2.64	3.71	3.86	3.04	3.21	3.75	

表3：教材の利用しやすさについて

教材 ID	1. 使いやすいと思う	2. 操作は簡単だった	3. 画像は見やすかった	4. 画面は見やすい配置だった	5. 音声は聞き取りやすかった	6. 文字は見やすかった	平均値
1	2	3	4	2	4	4	3.17
2	3	3	4	4	4	3	3.50
3	3	3	3	3	4	3	3.17
4	2	4	4	3	4	4	3.50
5	1	1	2	1	2	4	1.83

6	4	4	3	3	4	3	3.50
7	3	4	3	3	3	3	3.17
8	3	4	4	3	3	3	3.33
9	4	4	4	3	4	4	3.83
10	4	4	4	4	3	4	3.83
11	5	5	4	4	5	5	4.67
12	4	4	3	4	4	4	3.83
13	4	4	4	3	3	3	3.50
14	4	4	4	4	3	4	3.83
15	2	4	3	3	4	4	3.33
16	4	4	3	3	3	4	3.50
17	2	4	3	3	5	3	3.33
18	2	4	3	3	3	4	3.17
19	2	4	3	4	4	1	3.00
20	2	4	3	3	3	4	3.17
21	4	4	4	5	4	4	4.17
22	2	4	3	4	2	4	3.17
23	2	4	3	4	4	1	3.00
24	4	4	5	5	5	5	4.67
25	4	4	3	3	4	4	3.67
26	3	3	3	3	4	3	3.17
27	1	1	2	4	2	4	2.33
28	4	4	4	4	4	5	4.17
平均值	3.00	3.66	3.39	3.39	3.60	3.61	

表 4：場面設定と発音

教材 ID	1. 基本的な日常の場面設定がすべてそろっている	2. 場面は簡単なものから複雑なものへと進む	4. 発音に重点がおかれた教材である	5. 発音矯正ができるように工夫されている	6. 発音は簡単なものから複雑なものへと進む	7. 発音練習教材は独立した教材のほうがよい	8. 単語の発音でなく文全体のリズムにも配慮している	9. 文全体のリズム練習は独立した教材のほうがよい	平均値
1	3	4	2	2	3	3	3	3	2.88
2	3	3	5	5	3	2	5	2	3.50
3	3	3	4	5	3	1	5	3	3.38
4	1	1	2	1	2	4	4	N/A	2.14
5	1	1	2	1	1	2	2	2	1.50
6	4	4	5	2	3	4	5	5	4.00
7	2	3	3	2	3	4	3	5	3.13
8	2	3	2	2	2	4	1	5	2.63
9	2	3	4	4	4	4	4	5	3.75
10	5	4	3	3	3	5	3	5	3.88
11	4	4	1	2	1	5	3	5	3.13
12	3	3	3	3	2	4	4	5	3.38
13	4	3	5	4	4	5	5	5	4.38
14	3	3	2	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	2.67
15	2	3	1	1	1	3	2	3	2.00
16	2	2	3	4	1	2	4	2	2.50
17	2	3	4	3	4	4	4	4	3.50
18	3	2	1	1	1	3	2	3	2.00
19	1	4	1	1	1	5	1	5	2.38
20	1	4	2	1	2	2	4	2	2.25
21	4	4	4	3	2	1	4	1	2.88
22	3	4	5	4	2	2	4	2	3.25
23	3	3	5	5	3	1	5	1	3.25

24	3	1	4	4	3	2	5	2	3.00
25	3	2	3	2	1	2	3	4	2.50
26	3	3	4	1	1	4	5	5	3.25
27	2	3	5	4	3	5	5	1	3.50
28	3	4	5	4	2	2	4	2	3.25
平均値	2.68	3.00	3.21	2.74	2.26	3.15	3.67	3.35	

表 5：語彙と文法事項

教材 ID	1. この教材の文法事項について	2. 学習される語彙はいずれも基礎語彙である	3. 語彙は易しい語彙から難しい語彙へと段階的に提示される	4. 文法事項がよく整理されている	5. 文法は易しい文法から難しい文法へと段階的に提示される	6. 会話練習と文法練習のバランスがとれている	7. 文法練習教材は独立した教材のほうがよい	平均値
1	3	4	4	3	3	4	3	3.43
2	2	3	2	2	3	2	4	2.57
3	2	3	3	1	3	1	5	2.57
4	1	1	1	1	2	3	5	2.00
5	3	4	4	2	3	3	2	3.00
6	4	4	4	4	4	5	4	4.14
7	3	4	4	4	4	3	4	3.71
8	1	4	3	1	2	3	4	2.57
9	4	4	4	4	4	4	4	4.00
10	4	4	3	3	4	4	4	3.71
11	3	2	1	3	4	4	5	3.14
12	5	4	2	5	3	2	4	3.57
13	N/A	2	3	3	3	1	5	2.83
14	N/A	2	5	3	5	1	5	3.50
15	3	2	1	2	2	2	4	2.29

16	4	4	2	2	2	3	4	3.00
17	3	1	2	2	3	2	5	2.57
18	3	2	1	2	2	2	4	2.29
19	4	4	3	3	4	1	2	3.00
20	2	2	1	2	2	2	2	1.86
21	3	4	3	5	3	2	1	3.00
22	2	2	2	2	2	2	2	2.00
23	2	4	3	3	3	3	3	3.00
24	3	1	1	5	5	2	2	2.71
25	3	1	1	2	2	2	5	2.29
26	3	4	1	1	1	2	4	2.29
27	3	2	2	1	3	3	5	2.71
28	2	2	2	3	2	3	2	2.29
平均值	2.88	2.86	2.43	2.64	2.96	2.54	3.68	

資料 3 : アンケート結果

学生モニター報告書について

報告書の書式は Word 文書 (A4 40 文字 x 30 行) とします。Mac で作成する方も最終原稿は Word に変換してください。

標準的なテキストは、日本語フォント=MS P明朝体、英文フォント=Times New Roman で、いずれも 10.5 pt とします。上記以外の文字の大きさと書体 (ゴシックなど) は例にならってください。

初級教材と中級教材で必ずしも同じような回答ができない設問があります。それぞれのレベルにおける設問として回答してください。

報告書はすべて添付ファイルとして川口に送ってください。提出するファイルには、

報告書 (川口). doc (モニターが川口の場合)

のように名前をつけてください。なお本報告書の内容は Internet 上に公開され、著作権はこちらに属するものとお考えください。また原稿が集まった段階で、さらに加筆・修正をお願いすることがあるかもしれませんが、そのときは宜しく願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

川口裕司 (言語・情報講座)

以下にドイツ語の例を挙げて報告書の内容を詳しく説明します。必ず、報告書は以下の例の形式をまもって作成してください。

初級教材 Talk Now! はじめてのドイツ語 (Learn German)

モニター氏名 : XX XX 外国語学部 4 年男子

(学習歴 : 本学 4 年間 + ドイツ 1 年間, 試用時間: 40 時間)

1. 使用ソフト概要

(不明箇所は不明と明記)

☆ タイトル: 「Talk Now! はじめてのドイツ語 (Learn German)」

☆ 仕様: Windows & Macintosh ハイブリッド CD-ROM (テキスト, 取扱書等無し)

☆ インストールの要・不要: Windows 95 は不要, Windwos 3.1/ Macintosh では必要

☆ 制作・販売: EuroTalk LTD, www.eurotalk.co.uk/ 国内販売代理店: 株式会社インフィニシス, www.infinisys.co.jp

☆ 動作環境:

◇ Windows CPU : 486 以上, ディスプレイ : 640 × 480 / 256 色, メモリ : 8MB 以上 (16MB

以上を推奨), OS: 日本語版 Windows 3.1 または 95, CD-ROM: 倍速以上, サウンドカード: Sound Blaster 互換

◇ Macintosh CPU: 68030 以上, モニタ: 256 色, 空きメモリ: 5MB 以上, OS: 漢字 Talk 7.1 以上, CD-ROM: 倍速以上

- ☆ 概要: EuroTalk 社の外国語学習ソフトシリーズ Talk Now の一つ。このシリーズはアフリカーンス語からズールー語まで 23 言語を同一の教材構成でカバーしている。まったくの初学者用のソフトで、語彙と簡単なフレーズの練習が中心である。どのレッスンでも必ず発音練習が課され、雛形の発音と学習者の発音が比較できるようになっている。発音に対する評価や矯正のプログラムはない。練習問題は択一式のゲーム形式で行われる。文法の説明は特になく、文法の難易度(進度)による配列も考慮されていない。ヘルプは多言語対応であり、日本語のガイドもあるので、日本人学習者には優しいつくりとなっている。使われている画像はきれいだが、シリーズのどのソフトにも案内役として同じアメリカ人が登場し、やや不自然な感は否めない。
- ☆ 宣伝文句: 「いますぐ外国語を使い始めたい人のための基礎を学ぶソフトです。買い物, 時間, 食べ物など, 日常生活に最低限必要な基本単語, 表現だけを, 録音機能やゲームで楽しみながら学べます。賞状印刷機能付。」
- ☆ 備考: EuroTalk 社(英国)制作“Talk Now!”シリーズ中の一点。(ネイティブで日本語対応)
- ☆ 価格: 9800 円

2. 概評

(いずれも 5 段階で評価してください。質問に最も合致する場合に 5 をつけ、合致しないと思われる場合に 1 をつけてください。どうしても評価不能と考えられる項目には 0 をつけてください。)

1. 教材について

- 1-1. 興味をもてる内容だった: 4
- 1-2. 知的好奇心を満足させる内容だった: 5
- 1-3. エンターテインメント性がある内容だった: 5
- 1-4. 繰り返し使いたいと思う: 4
- 1-5. 授業でこの教材を使うことをすすめる: 3
- 1-6. 授業時間外で(個人で)この教材を使うことをすすめる: 4
- 1-7. この教材を買って使いたい: 3
- 1-8. この教材を大学で自由に使って勉強したい: 4

2. (教材の利用価値について) この教材は

- 2-1. 発音・イントネーションの勉強に役立つ: 5
- 2-2. 文法を習得するのに役立つ: 1
- 2-3. 単語を覚えるのに役立つ: 5
- 2-4. ヒヤリングの力をつけるのに役立つ: 4
- 2-5. 会話の練習に役立つ: 2
- 2-6. 単語や文章の書き取りの力をつけるのに役立つ: 4
- 2-7. ドイツ語に親しむのに役立つ: 4
- 2-8. その他役立つと思うこと: 「単語の意味するものが絵で表示されるので視覚の面からも覚えやすい」

3. 教材の利用しやすさについて

- 3-1. この教材は使いやすいと思う: 2
- 3-2. 操作は簡単だった: 4

- 3-3. 画像は見やすかった: 3
- 3-4. 画面は見やすい配置だった: 3
- 3-5. 音声は聞き取りやすかった: 4
- 3-6. 文字は見やすかった: 3

4. 場面設定と発音

- 4-1. 基本的な日常の場面設定がすべてそろっている: 2
- 4-2. 場面は簡単なものから複雑なものへと進む: 3
- 4-3. 場面設定で工夫されている点をあげてください:
- 4-4. 発音に重点がおかれた教材である: 2
- 4-5. 発音矯正ができるように工夫されている: 2
- 4-6. 発音は簡単なものから複雑なものへと進む: 1
- 4-7. 発音練習教材は独立した教材のほうがよい: 4
- 4-8. 単語の発音でなく文全体のリズムにも配慮している: 2
- 4-9. 文全体のリズム練習は独立した教材のほうがよい: 5

5. 語彙と文法事項

- 5-1. この教材の文法事項について: 3
- 5-2. 学習される語彙はいずれも基礎語彙である: 1
- 5-3. 語彙は易しい語彙から難しい語彙へと段階的に提示される: 1
- 5-4. 文法事項がよく整理されている: 1
- 5-5. 文法は易しい文法から難しい文法へと段階的に提示される: 3
- 5-6. 会話練習と文法練習のバランスがとれている: 5
- 5-7. 文法練習教材は独立した教材のほうがよい: 4

6. その他

- 6-2. この教材の良い点: 「自分の発音を聞くことができること」
- 6-3. この教材の改善してほしい点: 「単語と絵が結びつかないものがある」

6. コンピューターの利用について

- 6-1. コンピューターを日常的に使用している: 4
- 6-2. Internet を普段から閲覧している: 2
- 6-3. Internet 上で本教材を利用できればよいと思う: 3
- 6-4. 自宅のコンピュータで利用できればよいと思う: 3
- 6-5. その他ご意見があれば以下に自由に書いてください。

3. 分析

(この部分はモニター上非常に重要ですので、何度もCDを聞いて十分に調べた後に回答してください。IPAなどの音声記号は避けて、最低限の記号と綴り字で記入してください。簡体字と繁体字は表示可能ですので使用してかまいません。)

1. 場面設定

(ソフトにあらわれる全ての場面設定を順に記述してください)

L1 (Lesson1). 挨拶, L2. 買い物, L3. 映画館で, . . .

意見

(上記の場面設定について、あなたの意見を述べてください。とくに評価できる点と改善すべき点を述べてください。)

2. 発音

ソフトの中で十分に練習される発音とあまり練習されなかった部分を述べてください。

例 文単位での発音は練習できるが、個々の発音の練習ができない

3. 文法事項

ソフトに出てきた文法事項を最初から順にすべて挙げてください。

例 男性名詞(L1), 定冠詞(L2), 不定冠詞(L3), 比較(L5)・・・

意見

(上記の文法事項について、あなたの意見を述べてください。とくに評価できる点と改善すべき点を述べてください。)

4. 結論

(以下の6つの質問に自由に答える形式で結論をまとめてください。1・2・3とそれぞれ順番に答える形式をお願いします。)

1. 理想的な場面設定とはどのようなものでしょうか？
2. マルチメディア教材における理想的な発音学習とはどのようなものでしょうか？
3. マルチメディア教材における理想的な基礎語彙学習とはどのようなものでしょうか？
4. マルチメディア教材における理想的な文法学習とはどのようなものでしょうか？
5. マルチメディア教材における語学学習の利点と欠点とは何でしょうか？
6. マルチメディアを利用した上級語学教材（言語学を学ぶための語学教材，ドイツ文学を学ぶための語学教材，国際関係論を学ぶための語学教材）とはどのようなものでしょうか？自分の専攻領域について理想をお聞かせください。
